寫眞週報

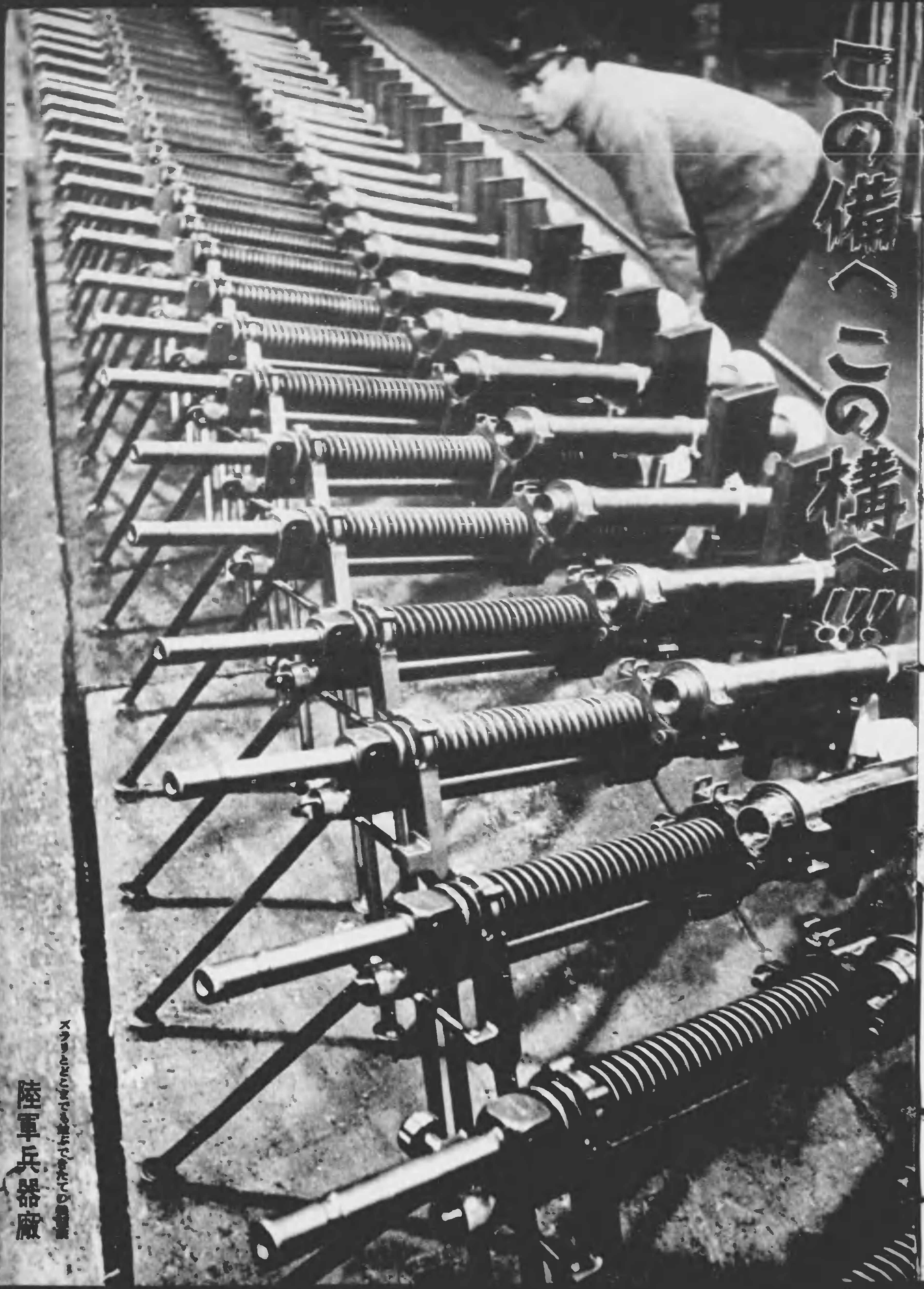
情報局編輯

七月九日・第百七十六號・十セン

昭和十三年二月十二日第三種郵便物認可　昭和十六年七月九日發行 [illegible]

支那事變四周年第二特輯

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/


この備へ この構へ!!!
ズラリとどこまでも並ぶできたての重機
陸軍兵器廠

満洲事変十周年
父祖濺血の聖地・満洲に
建設躍進の姿を看よ
滿鐵鐵道總局
松花

⇨嚴重な試驗を通過した歩兵銃は大きな倉庫に整理されて出征を待つてゐる

⇧相手は冷い鐵だがそれがいつの間にか生命あるものゝやうに思へてくる

この備へこの構へ!!!

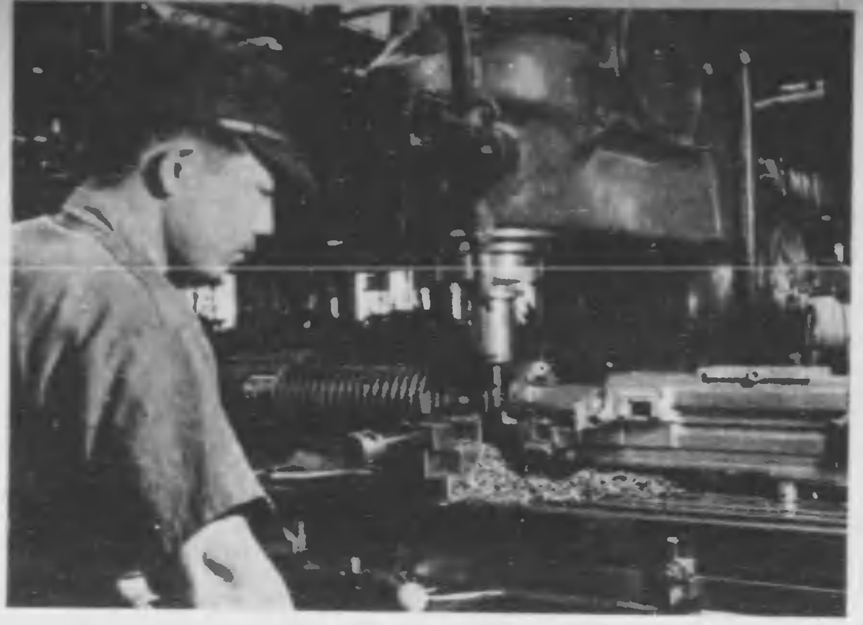
近代戰では優秀兵器の生産能力が大きく戰局を支配します。ドイツがこんどの新作戰に千萬人の動員を豪語できるのもこれだけ多數の兵士に立派な武裝をさせるだけの兵器生産能力に十分の餘裕があるからであつて、強い兵士を持つことと竝んで優れた兵器生産能力をもつことは勝利に導く二大ルートといへませう

事變四周年を迎へた日本の銃後陣も優秀兵器の大量生産は列強に劣らぬ馬力をかけてゐますが、今事變に使用されてゐる兵器は全生産の約二割位でせうから力強い限りではありませんか

しかしながらこの生産能力を今後いよ〳〵充實させてゆくにはわれわれ全國民の協力が必要なことは勿論ですが、直接生産陣をまもる戰士たちの熱にまつところが非常に大きいわけです

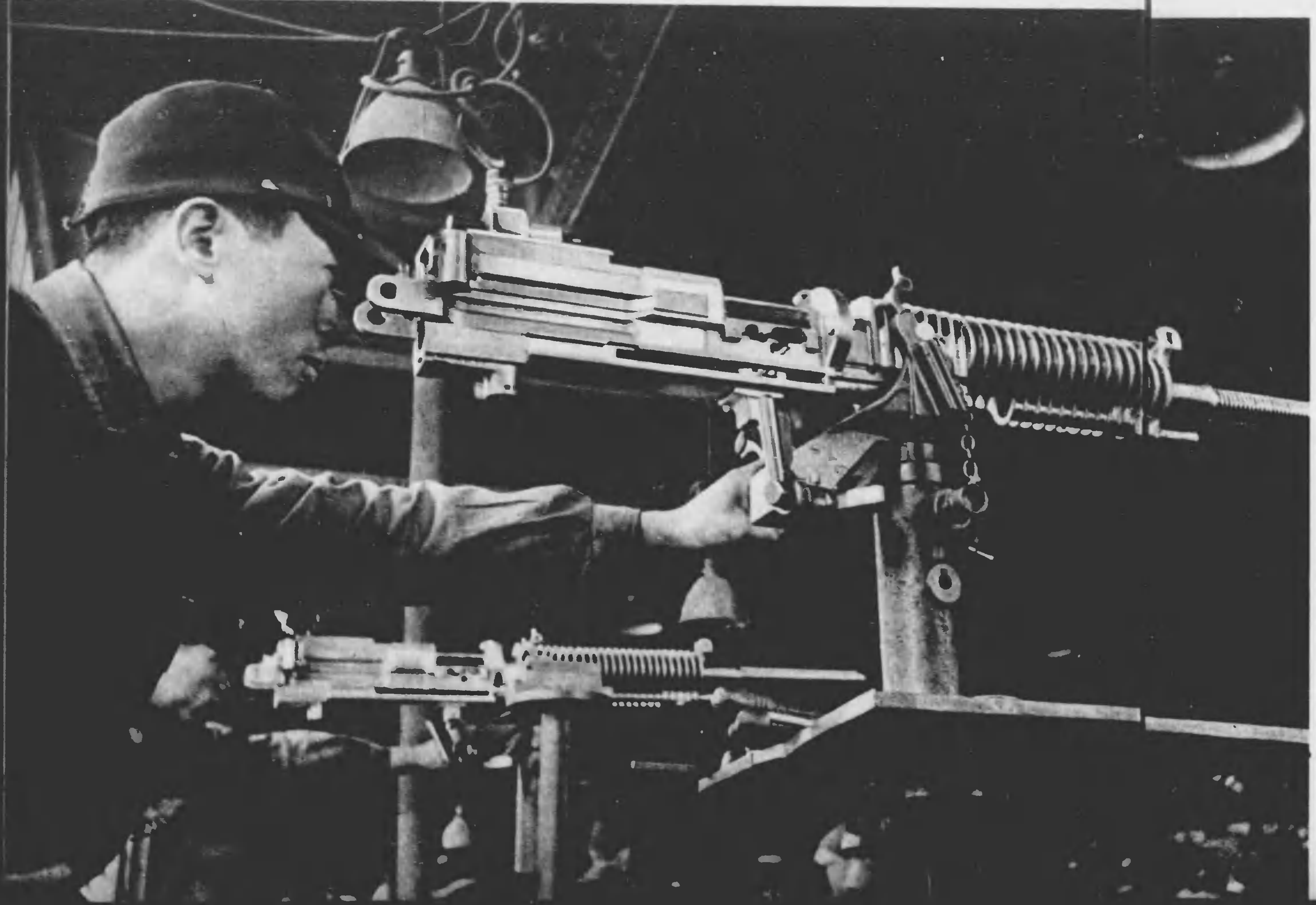
兵器廠の若き戰士たちは鋲一つにも血のにぢむ眞劍さと熱意をもつて大事な仕事にあたつてゐます

⇧放熱筒の旋造作業——實戰で灼けついたら大變だ。念の上にも念をいれて……



⇧燦たる菊花御紋章の押捺

機關銃の檢査、精密の上にも精密に⇩



陸軍兵器廠

ジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

青紙召集令

——福岡縣下男女青年團の軍役奉仕——

⇨『時子さんくさ〳〵、召集の來とるつちやが！』『何たすな、どげなこととのいふて來とりますとな』『青紙召集の來とるつたい……』

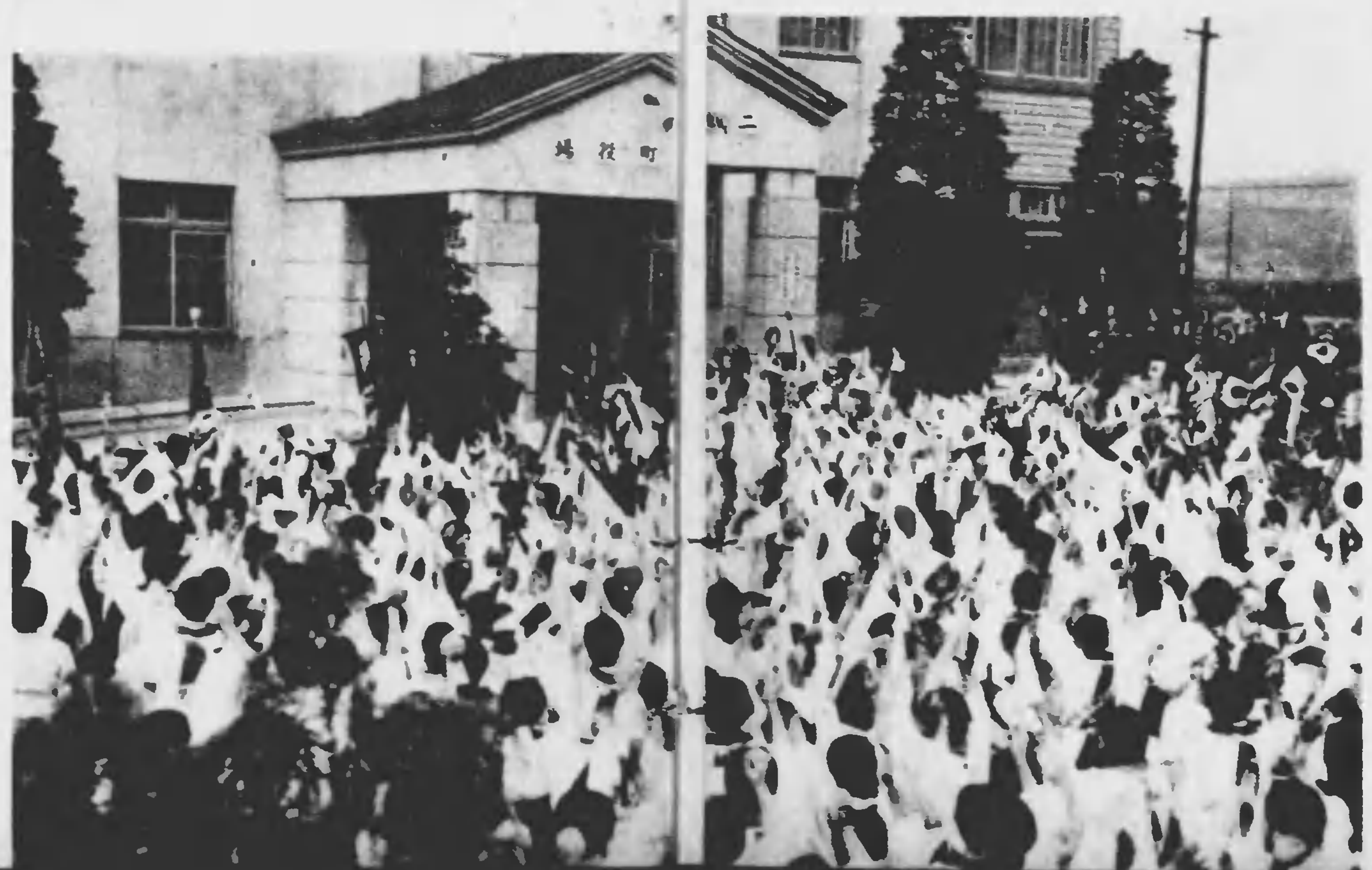
⇦お前や、忘れものなかとな、しつかりやてこないかんばい エンピツやらなんやらちやーんともつとんなるな

立つてゐるとふーつと睡氣がまぶたを重くする。その度に戰地の兄を心にかみしめる**下右**

⇧その朝、境内には町長始め町民多數の出迎への中を應召の娘達は滅私奉公を胸にきざんで社前に向ふ

⇩あゝこの感激……歡呼の旗の波——町長發聲の萬歲のどよめき……

『それもう一息、勝つた方がおまんじゆ三つよ』黄いろい聲援があがつてわーつとにぎやか……**下左**



『今回軍役奉仕ノ爲非常動員ヲ令ス依ツテ左記ニ依リ集合スベシ』應召日時、集合場所の記された青紙の召集令が縣下の男女青年に飛ばされる——令狀を手にした男女青年は出征兵士の場合と同じく町村民の盛大な見送りを後に勇躍應召、文字通り銃後戰線の第一線部隊として砲彈運びに火藥裝塡に青年の眞摯な熱情を傾けて眞劍な軍役奉仕がつゞく

支那事變勃發以來、福岡縣では縣下の男女青年の訓練と奉仕を目的として軍當局の了解協力の下に縣下各郡町村の男女青年を交代に動員、召集された銃後の若き戰士達は嚴格な軍律の内に集團生活を實踐、某地の陸軍兵器補給廠に十日間の軍役奉仕を行つて盡忠報國の赤誠をさゝげてゐる

福岡縣青年團勤勞奉仕班宿舍
電話二二三番

下關要塞司令部檢閲濟

青紙召集令

2

1

1今日からいよ〳〵軍役奉仕の生活が始まる。訓示の後、廠長自ら奉仕団を査閲する

2この砲車が戦地に送られて……さう思ふと何くそと力が出て背すぢを汗が流れる

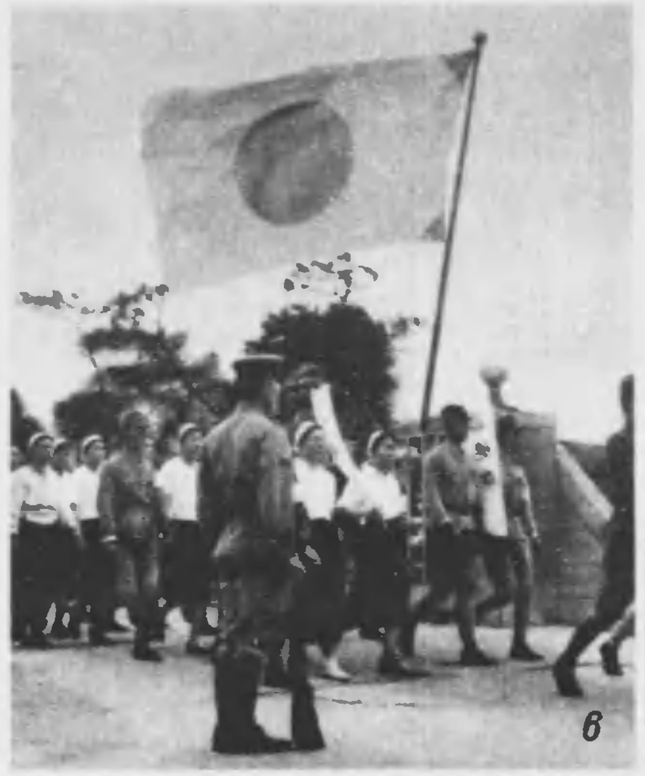
3薬莢に火薬を分配するわたしの手は直接、日本の明日に関係してゐる—こはいやうな、うれしいやうな緊張感がつゞく

4砲弾の部分工作に鼻の頭に汗さへみせて一心不乱—ニュース映画の戦場がチラリとかすめて……

5よいしよ〳〵気をつけろよ、よいしよ〳〵、そろ〳〵お晝が戀しくなる

6身も心も兵隊さんになつて今日一日の奉仕が終る。へんぽんと翻へる日章旗の下を歩調をとつて隊伍堂々——

下関要塞司令部検閲済


6

3

4

5

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

動く世界情勢と
われらの覺悟

日華の誓ひいよ／＼固し

六月十七日、はる／＼わが帝都を訪問された國民政府主席汪精衞先生は、その後東京市民の熱誠あふれる歡迎のうちに、重大使命を果して、二十五日、初夏の朝風爽かな中を無事退京された

汪先生の東京滯在は僅か一週間そこ／＼であつたが、しかし先生はわれ／＼に大きなお土産を殘して歸國された。その土産とは、先生の來訪によつて**日華兩國の誓ひがます／＼固くなつたといふことである**

先生は近衞首相と胸襟を開いて日華兩國の現在、將來について心ゆくまで相談された。その結果、六月二十三日二人連名の**共同聲明**が發せられた。その中に「我等會談ノ結果日華兩國政府ハ共同ノ目標ニ向ツテ一層ノ努力ヲ營ムヘキコトヲ誓ヒタリ」とあり、また國民政府は今後民衆をひきゐて、政治、軍事、經濟、文化の各方面に日華協力の實績を示してゆき、日本はこれに對し一層援助を與へて中國を東亞新秩序建設の一役者に仕立てるといふ意味のことが述べてある

かうして、昨年十一月末、日華基本條約が締結されて以來、着々と進んできた新中國の建設が、今後更に一段と兩國心を合せての意氣ごみで續けられてゆくわけである。われ／＼がこの四度目の事變記念日を迎へたことは、まことに意義深いことといはねばならず、それだけ勇往の覺悟を新たにしないではをられぬのである

汪先生及び新中國の民衆の滿足もさこそと思はれる。六月二十四日のラジオ放送を聽かれた人はご承知のことであらうが、近衞首相は汪精衞閣下を迎へてと題する放送中、日本は汪先生を支持し、**内外の不逞な挑戰者があれば斷乎排撃する**ときつぱり申され、汪先生もまた、日本國民の厚情、厚誼を國に持つて歸つて全國民に傳へよう、**中國の同胞は必ず深く感動し、諸君と手を携へて前進するであらう**といふことを述べられた

何といふ深い相互信賴であらう。われ／＼はもうこの上には何の迷ふこともない。新中國への援助を一層事實の上で示し、東亞新秩序の達成の巨歩をすゝめる仕事が、われ／＼の熱情を待つてゐるばかりである

歐洲の狀勢また急變

われ／＼が汪先生を迎へて、新東亞の明日を期待し、互ひに手をさしのべて協力を誓つてゐる矢先、突如六月二十二日の早朝、ドイツとイタリアがソ聯に對して宣戰を布告し、またも世界を驚かせた。そして早くもその日から獨ソの廣大な國境のこゝかしこから獨軍は猛烈にソ聯に進撃を開始した。しかも獨伊と歩調を合せて、フィンランド　ルーマニア兩國も行動を開始、またハンガリーも對ソ宣戰を布告して、こゝにヨーロッパの戰局は、新らしい方向に向つて一大風雲をまき起すに至つた

朝に夕に變轉常なき情勢はヨーロッパの習ひとはいひながら、まことに目まぐるしい變りやうである。一昨年八月不可侵條約を結び、その後ます／＼友好關係を深めるかに見えた獨ソ兩國が、なぜに急轉して砲火を交へねばならなくなつたのだらう。その眞相は今しばらく時日の經過を待つよりほかはないが、ドイツ政府の發表によると、ソ聯が表面上ドイツと提携すると見せかけながら、一方で英國としめし合せてドイツを長期戰に捲きこまうと暗躍してゐたといふのである。その眞僞は現在のところともかくとして、結局はナチスのドイツと共產主義のソ聯とは、共に相容れない水と油であつたのであり、早晩來るべきものがやつてきたとも見られるのである

獨ソ開戰の影響はもちろん計り知れないほど甚大であらう。さしづめ、兩國の開戰に會心の笑を漏らしたのは英米兩國であらう。ドイツの破竹の勢力にその前途を暗くしてゐたイギリスは、これによつて少からず愁眉を開き、ドイツに向つて戰ふ者はわれらの仲間であるとして、いち早くソ聯援助を約束したといはれる。またアメリカもこれまでの對ソ政策を棄て、協力方針に一轉する氣運が濃厚であるといふことである

かくて獨ソの開戰により、ヨーロッパ戰爭は文字通りの世界大戰へと展開し、その前途はまことに豫想し切れぬほど複雜を極めることとなつた

さてそれなら**われ／＼はこの不安不定の世界情勢の中にあつていつたいどういふ態度でをらなければならないだらうか**

何の迷ひなしわれらの態度

獨ソ開戰の報とともに、ある一部の人々のうちには、三國條約はどうなるだらう、中立條約はどうなるだらうなどと、まことにせつかちに氣を廻す人があつたやうである。いつたい、これらの人たちは、その日常生活に獨ソ開戰がどんな深い繋がりを持つてゐるといふのだらうか。**世界は目まぐるしく動く。この動きに心着かれ氣を散らしてゐたとしたら、何の實績が擧り何ほどの前進があるだらうか**

例をひくまでもないが、もしわが家が重大な瀬戸際にあるとき、父は父、母は母、子供は子供で、めい／＼が思ひ／＼にやきもきしてゐたとしたらどうなるだらう。決して家族全員の協力から生れる強く美しい成果は結ぶはずがなく、一家の再興などは及びもつかないであらう

この簡單なことはそのまゝ一國にも適用される。政府はすべての方面に亙り深く考慮をめぐらし、國策を決定してゐるが、われ／＼がこれを信じ、政府の施策に從つて一つ動く以外に、偉大な國力の發揮されるわけはない。幾度もいはれるやうに、今や議論の時でも思案の時でもなく、ただ實行あるのみといふのは、まさしくこの意味からである

では政府の施策はどこに重點が置かれてゐるか。いふまでもない。それは支那事變の完遂にある。そしてそのためにこそ國防國家の建設がさし迫つてゐるのである。われ／＼が食ひたい食物も節約し、粗末な衣服に甘んじ、零細な金の貯蓄をゆるがせにしないのは、實にそのためである

何よりも力が肝要である。國家の實力があれば何の恐れるものもない。獨ソの戰況がどうならうと、英米がどうでようと、力さへあれば物を言ふのである

要するに、議論にふける者が何千何百人あらうとも、それは遂に一人の銃後の戰士にも及ばない。年ごとに意義新たな事變記念日の第四回目を迎へた今日、殊に**この感を深くする**

常に脚下を見よ

火を吹く北支の資源

現在北支の石炭埋藏量は、内地埋藏量の約十倍、二千億トンといはれ、一方鐵鑛は、今までの調査でわかつたものだけでも三億トンといふ莫大な數字を示してゐる

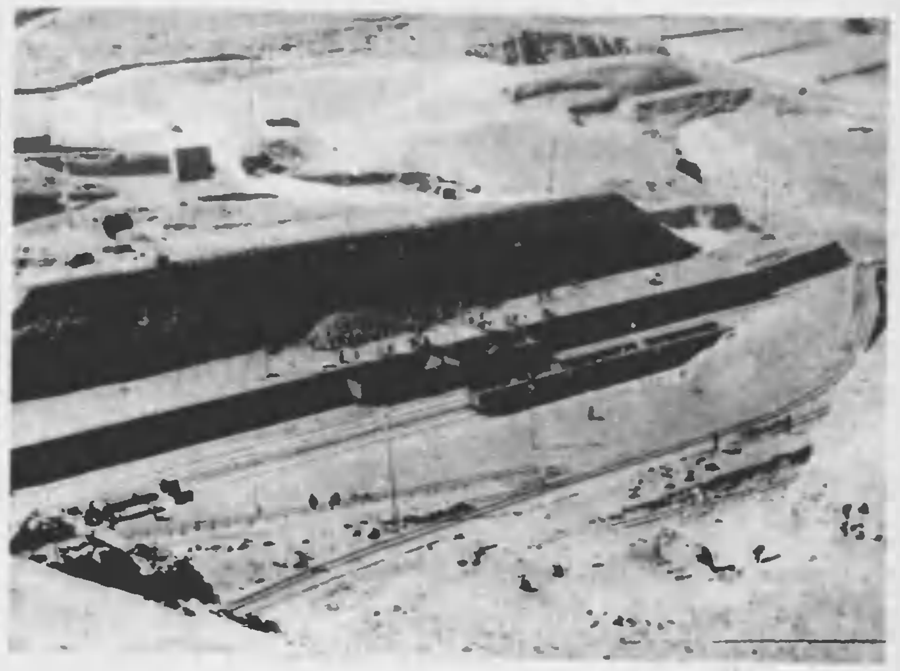
北支の炭鑛、鐵鑛等は強力な軍の援護の下に、いはゆる産業兵團の不撓不屈の努力によつて開發が驚くべき早さで進められ事變滿四年を迎へた昨今では、大東亞共榮圈にその不足資源を活潑に提供することが約束され石佛で名高い大同の大同炭鑛（蒙疆地區、面積約十八萬町歩埋藏量百二十億トン）など、今年度の出炭豫想は實に事變前の四倍といはれる

北支随一といはれる龍烟鐵鑛（蒙疆地區、埋藏量一億トンを突破）は、察南宣化縣、龍關縣等五縣にもわたる廣大な地域に横はつてゐる一大鑛床で、良質な赤鐵鑛を埋藏してゐる。現在最も積極的に開發されてゐるのは烟筒山鑛區で約四千人の中國人鑛夫は大部分宿舍を與へられ朗らかに働いてゐる。日産二千五百トンといふ有望さである

北支の製鐵所として囑望されてゐる山西省の中心地にある太原鐵廠は、閻錫山のいはゆる山西モンロー主義によつて設立されたものであるが、こんどの事變勃發當時すでに八分通り完成してゐたので、その復興にも大した費用や資材がいらず、しかも、製鐵に必要な石炭も豐富な上に、増産設備もこのほど完成したので、今後北支の銑鐵増産は一段と強力化される筈

大同炭鑛　豐かな炭層に喰ひ込む鑿岩機の心地よいうなり

見渡す限り山と積まれた石炭



烟筒山鑛區　鐵鑛石の積出し

さあツと鐵鑛の山を崩せば十噸積貨車もすぐ一杯になる

太原鐵廠　熔鑛爐の口からあけられると灼熱された鐵の奔流が砂の溝の中に流れこむ

鐵道の枕木ではなくて銑鐵の山

アジア歴史資
Japan Center for Asian Histo
http://www.jacar.go.jp

復興めざましき北支の現況

興亞院華北連絡部文化局長
陸軍大佐　松井眞二

支那事變は早くも第四周年の記念日を迎へましたが、事變の始まつた當時と今とをくらべてみますと、その當時には中國に住んでゐた日本人の數はほゞ二万人にしか過ぎませんでしたが、近頃では軍隊を除いた一般日本人の數が約四十万といふ多數に達し、北京だけでも九万人もゐるほどで、わが占據地のどこへ行つても日本人の進出してゐない土地はないといふ有様です。また、東京と北京との間の二千四百キロには直通の電話が通じ、旅客機は毎日往復してゐるし、鐵道は北京と釜山との間に日本の直通列車を走らせ、一枚の通券で北海道の魚が、まつすぐに山西省の奧地までも運ばれてゐるのです

このやうな事柄を見ただけでも、日本と中國とが文字通りに東亞共榮圏の圏内として互ひに切離しえない密接な間柄になつてきたことがはつきりと判ることと思ひます

大東亞の建設と北支の特殊使命

ことに事變の發端地だつた北支では治安の確保もはかどり、各種の産業の復興や文化方面のいろいろな分野も着々と復興して面目を一新し、どんどんと日華提携の實績があげられてをります。もともと北支は地理的にも、滿洲國と境を接してゐて、蒙古とともに、わが日本とは昔から特に重要な關係をもつてゐたのですが、事變このかたの目覺しい日本人の進出ぶりは、まことに日本民族の大陸發展の前進基地であり、大東亞建設の樞軸としての役割を持つものといふことができるでせう

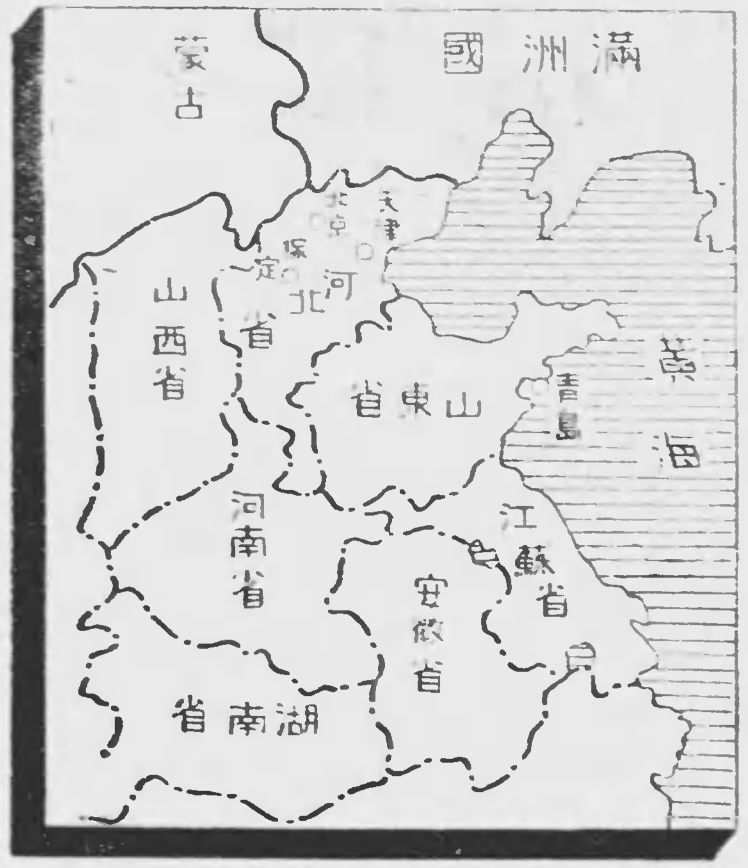
軍事上の意義は別として、經濟的には、有無相通ずるといふ、日支の關係によつて、北支の石炭、鐵、アルミニューム、鹽、棉花、羊毛皮革類などの重要資源は、戰時日本の大事な資源として大いに活用される一方、日本からは、各種の生活必需品をはじめとして資源開發にいる澤山の機械や資金、優れた技術などが供給されます。また經濟活動の根本になる貨幣は、わが國の貨幣單位の金圓と同じ價値に兌換することができる仕組になつてゐて、[illegible]北支では聯合準備銀行券が法定貨として用ひられ、いはゆる**圓ブロックの有力な一貫をなしてゐるのです**

このやうに北支は日本や滿洲國との關係が特に密接であり、特別な地位にあるので、國民政府でも特に**華北政務委員會**といふ役所を設けてゐます。また昨十五年秋に結ばれた日華國交調整についての條項や、その後にできた日滿華經濟建設要綱などをみても、新東亞建設のために北支が特殊の使命をもつてゐる點ははつきりわかると思ふのです

日華協力の下に力強いこの復興

地域

ひと口に**北支**といひますが、その地域はどこを指すかといひますと地理的にはいろいろの說があるのですが、今日では華北政務委員會の行政區域になつてゐる**河北**、**山東**、**山西**の三省と**河南**、**安徽**、**江蘇**の各省の一部を加へた地域だといつてもよいでせう。この區劃によつてみると、地理的にも、文化的にも、北と南では氣候、地形、土壤などの自然條件がちがひ、したがつて農業その他の生活の様子もはつきりと區別される境界線があるのです



例へば有名な北支の黄土は、この線を境にして北の方は乾燥地であり、南は濕潤地であつて、これによつて交通も北は陸上交通、南は水運が發達してゐる。農業も北は畑作を主とした乾燥農業で小麥、高粱、粟、棉花、豆類が多く、南方は水田の米作が基本になつてゐます。また家畜にしても北方は騾馬、驢馬、南方は水牛、家屋は北の土造、石造に對して南は煉瓦の木造家屋、北方人は體格が大きく保守的だが、南方人は小さくて急進的……といふやうな違つてゐるのです

この北支の地域に、蒙古聯合自治政府の治下にある蒙疆を加へた廣さは滿洲國の廣さとほゞ同じであつて、日本全土の約二倍の廣さにあたります

人口

人口は、蒙疆の六百万を合せると九千万を超え、そのうち八割以上が農民であつて、一平方キロに北支では一九九人で、わが國の一四五人より遙かに多いのです。またわが國では人口が都會へ都會へと集中されてゐますが、北支では大部分が農村に集中されてゐて都會に集つてゐるのは全人口の一・五厘にしか過ぎないといはれてゐます

このやうに農村には人口の大部分が集つてゐる上に、毎年の水害とか旱害、その他地方軍閥や共産軍の搾取によつて農村は極度に疲弊してゐて、貧農たちは、わづかばかりのやせた耕作地の上に群がり合つてゐるのがこれまでの北支農村の實態であつて、この農村にあまつてゐる人口は毎年百万人以上にのぼりますが、いづれも出稼の苦力として、主に滿洲國に移住してゐるのです

交通

國土開發の先端となり、産業文化開發の動脈といふのは何といつても交通機關ですが、北支、蒙疆の全地域にわたつて、鐵道をはじめ自動車、水運、飛行機から電信、電話など、すべて日本の指導の下に新中國の協力によつて、[illegible]目覺しい發達を[illegible]ものになり[illegible]ます。また戰時下の日本にとつて一番必要な石炭をはじめ、いろいろの[illegible]の開發も[illegible]

文化の灯も明るく民衆の教化は進む

教育

一方文化の方面でも[illegible]々と建設の歩みが進められてゐますが、まづ次の時代を擔ふ小國民たちの指導者達を作り上げる基になる教育の施設をみますと、事變前までに行はれてゐた排日教育は、すべて改められて、下は小學校から、上は國立大學まで、何れも新しい教育方針によつて、東亞新秩序の建設に適した人材を作ることに努めてゐるのです

教育施設はまだ建設中のことでもあり[illegible]教育の中心ともいふべき[illegible]前には比較にならないほど充實[illegible]ます。[illegible]北京、清華、燕京[illegible]、交通の各大學に代つて**國立北京大學**が[illegible]、文、法、理、[illegible]の各學院に分れて[illegible]、日本から招かれた教授たちの指導協力の下に[illegible]

また教員養成のためには國立の男女各師範學院、大學、教員[illegible]、外國語專科學校[illegible]などがあります

小國民教育機關の中等學校、小學校も[illegible]

[illegible]

輝やく明日への使命をはたさう！

[illegible]日華協力の[illegible]

[illegible]北支は、**日本民族の大陸發展の試練道場であり　東亞共榮圏確立の培養基としての役割をもつものであるといふことができるのです**

施療を手傳ふ愛路婦女隊

[illegible]

聖戰の成果

★陸軍（[illegible]）

一　事變發生以來の戰果

敵の遺棄死體　約[illegible]万九千（自昭和十二年七月至昭和十六年[illegible]月）

敵ノ損害（[illegible]）　約[illegible]八[illegible]万

鹵獲品

各種火砲　四、[illegible]九

重・輕機關銃　一九、八三七

小銃　四五[illegible]、五五八

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]四七五

[illegible]　二、四四九

二　本年[illegible]間の主要作戰

作戰	參加兵力	期日
◎晉南方作戰（北支・山西省南部）	敵兵約[illegible]万	[illegible]月中旬 [illegible]月下旬
◎[illegible]作戰（[illegible]）	[illegible]	[illegible]
◎[illegible]作戰（中支・[illegible]）	敵兵約[illegible]万	[illegible]月下旬
◎[illegible]作戰（中支・[illegible]）	敵兵約[illegible]万	[illegible]月上旬
◎[illegible]作戰（中支・[illegible]）	敵兵約[illegible]	[illegible]
◎[illegible]作戰（中支・[illegible]）	敵兵約[illegible]	[illegible]
◎[illegible]作戰（[illegible]）	敵兵約[illegible]	[illegible]
◎[illegible]作戰（中支・[illegible]）	敵兵約[illegible]	[illegible]
◎[illegible]作戰（中支・[illegible]）	敵兵約[illegible]	[illegible]
◎[illegible]湖西方作戰（中支・[illegible]）	敵兵約[illegible]	[illegible]
◎[illegible]東作戰（[illegible]）	[illegible]	三月下旬
◎浙東作戰（中支・浙江省東部）	敵兵約十万	四月中旬 五月中旬
◎福建作戰（南支・福建省東部）	敵兵約[illegible]万	四月中旬 五月下旬
◎江北作戰（中支・湖北省東部）	敵兵約六万	五月上旬 下旬
◎[illegible]江作戰（南支・[illegible]）	敵兵約[illegible]万	五月中旬
◎中原作戰（北支・山西省南部）	敵兵約二十万	五月上旬 六月中旬
◎冀東作戰（北支・河北省東部）	[illegible]	六月上旬

海軍

（一）事變發生以來わが海軍は（一）制海制空權の確立、（二）陸戰隊の奮闘、（三）海軍航空部隊の活躍、（四）封鎖艦隊の支那沿岸交通遮斷、（五）揚子江部隊の揚子江及び珠江作戰並びに水路啓開、（六）敵要地の占領、（七）海陸軍の協同作戰等不滅の武勲を輝かしたが、しかも聖戰[illegible]には海南島を攻略し、また北海作戰によつて南支那海を[illegible]

（二）本年に入つてからの中南支に於ける[illegible]の臨檢、匪賊の討伐、揚子江部隊の航路啓開、大陸[illegible]の水路啓開、浙江沿岸の[illegible]等々の戰果は計り知れないほど大きい

（三）海軍航空隊の活躍は、特に中南支、[illegible]物資[illegible]、各地の要衝はこれがため徹底的な打撃を受けた。今事變始まつてから今年五月までの奧地爆撃回數を擧げると

南寧　[illegible]九回、昆明　一四回

成都　[illegible]四回、蘭州　一[illegible]回

[illegible]路　[illegible]八回

で、今年だけの敵飛行機撃破數を見ても、地上撃破九[illegible]、撃墜[illegible]七、合計一二九機に上る

ハリキリ銃後！

支那事変四周年記念漫画

三光漫画團合作

☆ハリキリづくし

パン屋さん　代用食時代ですよ、食べ、食べ、食べて奉公しなさいませよ

時計屋さん　銃後の生活も狂はせないで、ゆるまぬ心のネヂをまきませう

洋食屋さん　肉ナシデー以外の日には、チヤにカツは、特に大サービスをいたしませう

カメラマン　時局にピントを合せて、要塞地帯に狙をつけませう

奥さん　[illegible]に慣窓はつきもの[illegible]お勧めしますワ

ご隠居さん　年寄に冷水は昔のこと、[illegible]時代ですぞ

坊ちやん　ボクハ、チヨキンクンと、切手貯金

女中さん　[illegible]消しても、[illegible]の紐をしめませう

—筑摩鐵平—

漫話 ハリキリ隣組

「オヤ〳〵七夕のお飾りがお隣に出来ましたネ。短冊に何か書いてあるよ」

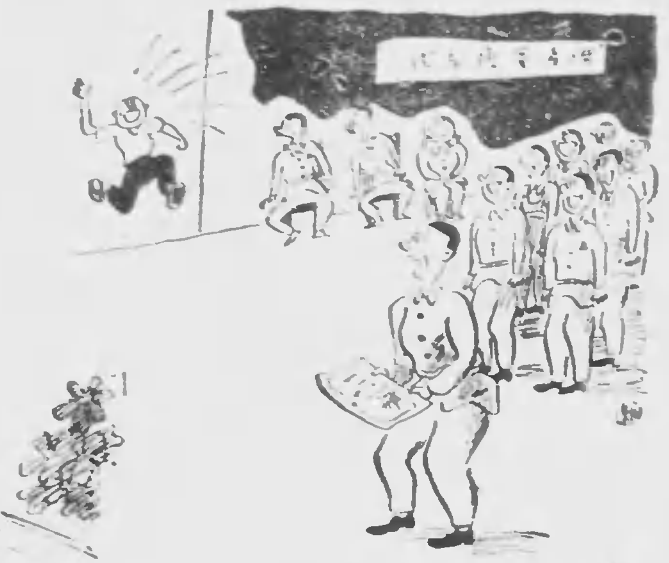
昭和十六年七月七日

隣組ハリキリ[illegible]

[illegible]

[illegible]

—芳垣青天—

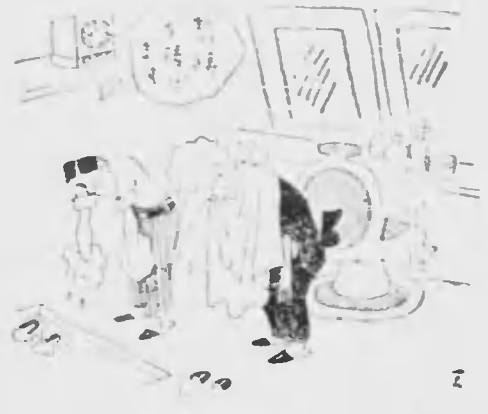


☆**増産戦士**

『オーイ、お前んとこのおかみさん、男の子うんだぞ』

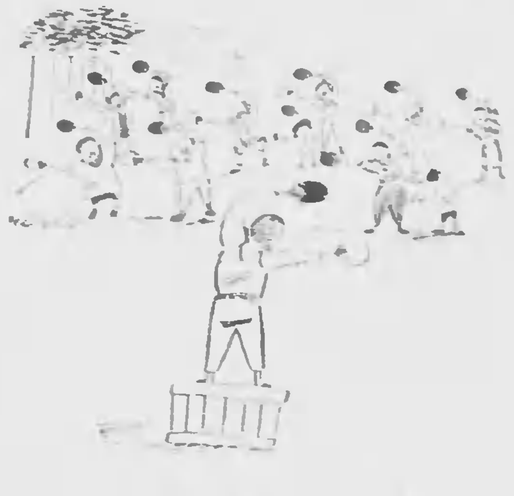
『オーツ』

大野鎮三



☆**銘記せよ　この日、この時**

芳垣青天

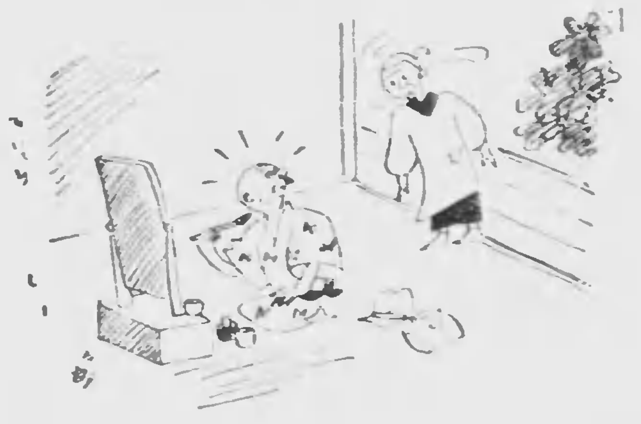


☆**白髪染め**

『いやア、[illegible]』

[illegible]若返つて若い者と一緒になつて[illegible]

西塔子郎

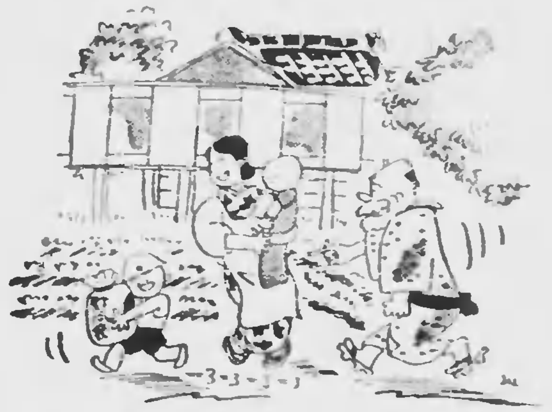


☆**さては五歳**

『まあ〳〵お元気ですこと、おいくつですの』

『[illegible]よ……ハイ』

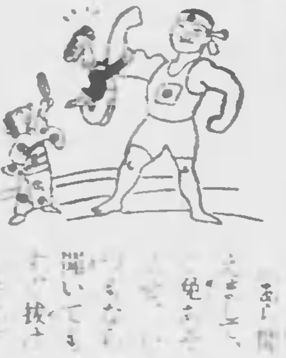
山川　哲



豆漫キ

抜け畫し

[illegible]



[illegible]

—松下井知夫—

☆替唄　銃後ハリキリ集

おはら節

元唄

花は霧島、煙草は国分　燃えて上るはオハラハー　桜島　ハ、ヨイ〳〵ヨイヤサ

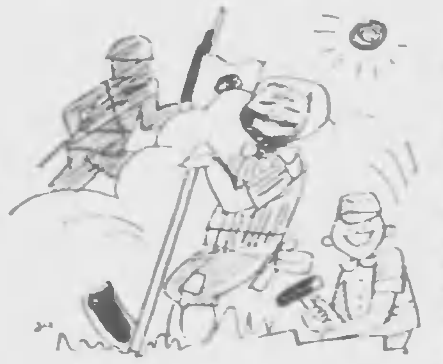
替唄

へ若い〳〵とこぼしちやならぬ　若い職場ならオハラハー　一〇〇度越す　ハ、ヨイ〳〵ヨイヤサ

へ胴にハンマー算盤ペンに　滅私奉公ならオハラハー　それよいか　ハ、ヨイ〳〵ヨイヤサ

へ生めよ殖やせよ御国の宝　みんな揃へばオハラハー　三つ児前め　[illegible]　ハ、ヨイ〳〵ヨイヤサ

へ[illegible]　ハ、ヨイ〳〵ヨイヤサ



佐渡おけさ

元唄

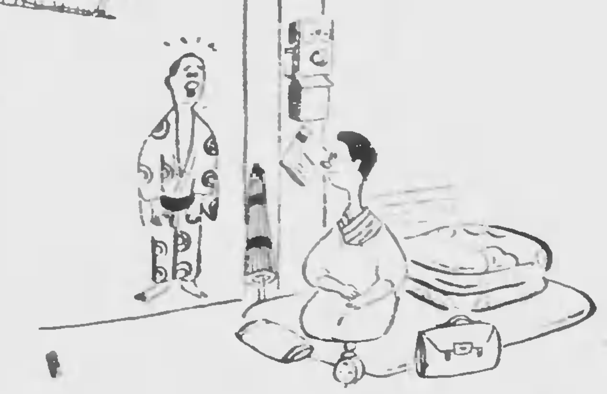
[illegible]佐渡は居よいか住みよいか　[illegible]

替唄

[illegible]

へアー、兄は銃取る　弟はハンマー[illegible]

—山川　哲—



☆**隣組の訓練**

これ、今日は一つ[illegible]を利用して手旗信號をお教へしませう

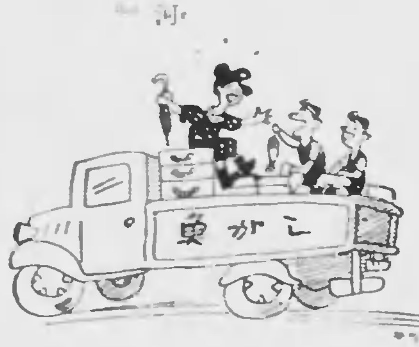
小川哲男

☆**ハリキリ産婆さん**

『何だい、お前そんな恰好で出るのかい』

『さうですわ。いつなんどき、かけつけなくちやならないでせう』

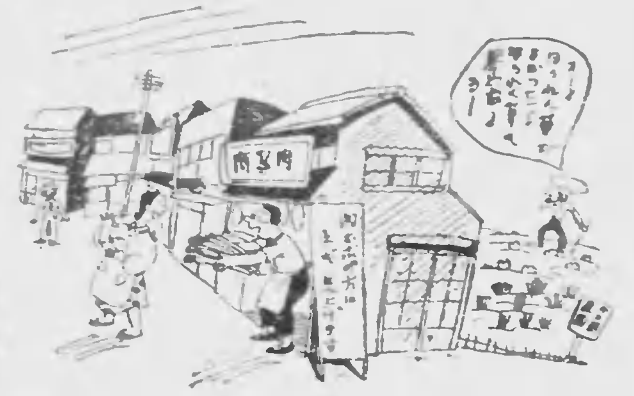
青山かずを



☆**夫に見せたいこの晴姿**

おかみさん、近頃ヤット河岸の符牒を覚えましたワ

筑摩鐵平



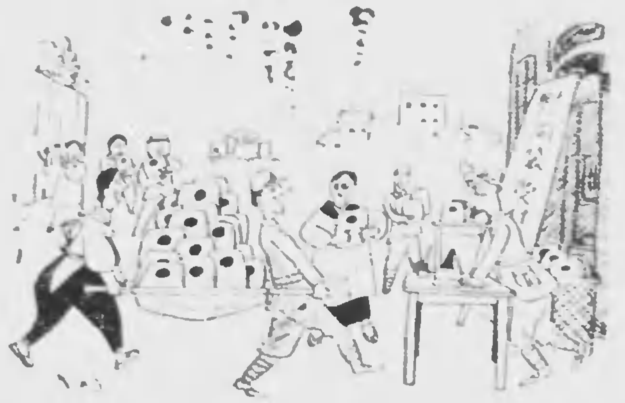
抱合せ新體制

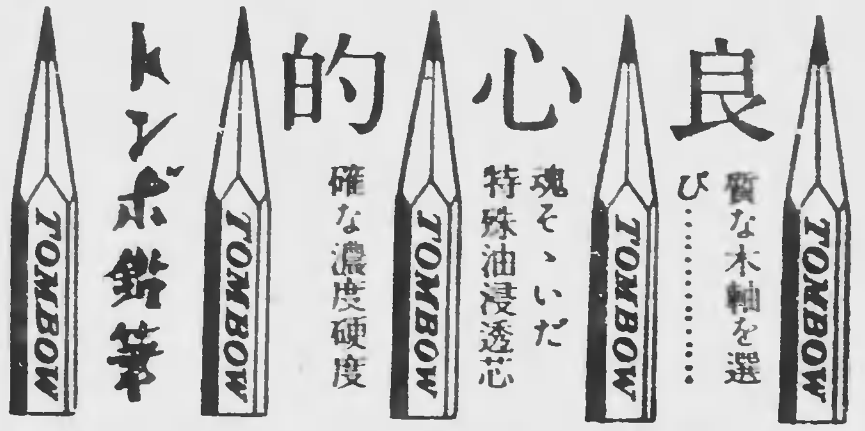
松下井知夫

ハリキル疑問袋

[illegible]

佐次たかし





良心的
質な木軸を選び……………
魂そゝいだ特殊油浸透芯
確な濃度硬度
トンボ鉛筆
TOMBOW

家庭生活の新體制　七月の巻

見栄をすてたよい交際の仕方

これから夏になつて暑くなると中元など物のやりとりをする交際がさかんになります。國家非常時の折柄いく分下火になつたといつても、まだ〳〵この季節になると、百貨店の商品券賣場には長蛇の列を作り、また食料品や乾物類はのし紙に包まれてとぶやうに賣れてゆくやうな有様です。かういつた贈答は長い間つゞけてゐるために急に止めるとケチに思はれるのもいやだとか、氣がきかないやうに思はれないだらうかなどといふ氣持で、つひ引きずられてゐる場合が多いやうです。

私たちが生活するために必要ないろ〳〵の費用を考へてみますと、交際費こそは本氣になつて問題にし、根本的に考へ直して工夫をしたならば、どれだけでも切りつめることができるものです。百二十五億貯蓄達成のためにはまづ目の前にさし迫つてゐる形式的な中元などの贈答を[illegible]めて本當の意味でのおつきあひを見直し[illegible]ませう

これは非常時だから交際をやめようといふのではなく、日常生活と不釣合な[illegible]をしみ[illegible]、必要でない[illegible]したらよいでせう

ちよつとの油断てかさみ、またちよつとの工夫て節約できるのは交際費てすか、今までの生活の中から節約[illegible]と友情を有効に生かしてゆくにはどう[illegible]

物品のみ[illegible]お客様[illegible]

二錢の交際

一錢のはがきを使つてまめやかに便りをしあふのも一つの交際法です。細かにこちらの生活を書き送れば、むかふからも近況を知らせてくる。[illegible]十分な時間と車賃を使つて訪問しようと[illegible]延して一年に一度になつたりするものが、はがきの交際は氣輕に誰にもできて、友情を深めることができるのです

手輕なお客

世間一般に男子は男子同志で外食し、女は形式的な招客を交際だと考へてゐるやうですが殘念なことです。お家の一年の豫定を作る時、一年に一、二度適當な時に家庭の食事やお茶にお客様を呼んだり、親類や近所の子供にかけ集めて子供會をするのもよいことでせう、かうすれば一家揃つて親睦することができて、これならたのしい交際[illegible]といふことができます

手作り贈答

どうしても贈答をかけなければならない時は、心のこもつた[illegible]義理一遍の品物よりも[illegible]心の重荷になるのは當然です。[illegible]贈物はその[illegible]手作りの[illegible]子供の手で作つた[illegible]しいものでせう

×　×

私たちの生活費の中から、交際の費用をかういふやうに節約してゆけばこれだけ生活費が浮いて上るとゝもに、しつかりした友情をつゞけることができます。ですからいろ〳〵私たちの交際法を考へだして、新らしい生活を踏みだしてゆきませう

―大阪市―

[illegible]

召されて働く　このよろこび

こゝに掲載の手記は本誌グラビヤ頁の『青紙召集令』に應召、十日間の軍役奉仕生活を送つた娘さん方のいつはらざる體驗記です。皆さんはこれらの文章によつて、召されて働く悅びの如何に尊く、また大きいかを知るてせう

×　×

[illegible]青年訓練[illegible]召状を手にして、一種異様の感激にと[illegible]

戰地にゐられる兵士のそれに比べ[illegible]女性の身として[illegible]動員に召集[illegible]できるといふことは[illegible]の大きな行動であつた。日頃家庭に[illegible]自分では時局に相應した生活をしてゐるつもりだつた。精一ぱいの毎日を明け暮れてゐるつもりであつた。しかし消費面を受持つ私たちの生活はともすれは世間の人から誤解され易い。私たちはそれがくやしかつた。自分たちでもやれはできるといふ感情をいつも持つてゐた。一度は自分たちの心意氣を形に表はしたいとも思つてゐた。はからずもこの動員に接して、その機會をえたわけだ。それ等を考へ合せるとこの動員は力の源泉ともなり嬉しいものであつた

こゝに簡單ではあるが、この十日間、恐らく私たちの長い人生史のうちでも最も輝かしい一頁となるであらうこの尊い十日間の奉仕生活中の感想を箇條書に述べて見ることとする

職場における生活

（イ）まづ職場の空氣だ。すべてが軍隊式で氣持がよい。上位上官の命には絶對服從、不平もおこらず皆朗らかだ。どんなに困苦しいことだらうと思つてゐたが一寸趣を異にしてゐて嬉しかつた

（ロ）作業所の内容。秘密で書くことではない。しかし家をでるとき強い覺悟をしてきたせゐか少しも苦しくない。次から次へと仕事が面白いやうにできて嬉しかつた。正直もつと難しいことをする覺悟でてきたのだ。それに休憩時間が何時より何分間と決められてゐるので嬉しい。とにかく今までの家庭生活より規律正しく時間が正確なので疲れもしないやうだ。次から次へと仕事を請求するので事務の方がよく〳〵仕事が好きさですねといはれた。思はず遊んでゐるのが勿體ないと本音を言葉となつて答へにでる

（ハ）疲れないといつても一日一生懸命に働いた後は相當の疲勞を覺える。しかし夢中で點呼後整列をすまし、同足並を揃へ軍歌を高らかに歌ひながら歸途に着く時、その日の疲勞もいつしか消えるやうだ。[illegible]

宿舍における生活

（イ）まづ第一に宿舍の方々の親切さ、心の底から職域奉公をめざされてゐること、その意氣に私達は感服し、また滿腔の感謝を表せずにはをられない

（ロ）五時、起床緊張してゐるせいか何ともいへない。午前五時に人員點呼。[illegible]嚴かな氣持[illegible]代の調べ、何とも形容の言葉にない。國旗掲揚

（ハ）一日の奉仕作業もとゞこほりなく終了。宿舍にかへつて入浴、夕食八時半より夜の修養がある。靜座、皇居遙拜、御製朗詠、再び靜座、兩親に挨拶をした後、お互にお休みなさいの挨拶を濟ませて一日の床に就くのだ。靜座の時間には今日一日の自分を靜かに反省してみる

（東京[illegible]青年團）松田培子

×　×

その夜は見知らぬ土地で、眠れぬまゝに[illegible]起床太鼓の音と共に起きて[illegible]我等の戰ひはこれから[illegible]職場へと歩を運ぶ。朝食、全員訓練の後、[illegible]職場へ、いよ〳〵今から作業戰士として働くのかと思へば、我等乙女の胸は高鳴る。ビーンと張りつめた氣持を抱いて作業場へ入り、職長さんより仕事を割當てていたゞき、工員さんから仕事を習得する。割合簡單な仕事であるし[illegible]工員さんの教導によつて直ぐに馴れる。自分たちにも[illegible]意外の感に打たれる。そこでこゝに[illegible]といふ氣持に起らない[illegible]職場の第一日も[illegible]を終へ[illegible]に感謝[illegible]歸途につく。夜は規律ある行事の下に行動する。第二日、第三日、日がたつに從ひ、緊張が弛んだといはれては駄目だと思ひ、初日の氣持をいつまでも持ちつゞけたいと思つてゐる

（[illegible]）井上滿壽子

銃後の便りがグッと減りました

オーイ手紙がきたぞ、と[illegible]飛び[illegible]してゐる兵隊さん[illegible]ボロ〳〵になつても、まだ讀めないやうになつても大切にふところにしまつておいて、何度も何度も繰りかへし讀[illegible]兵隊さん。兵隊さんは銃後の便りを待ちわびてゐます

兵隊さんに便りをだしませう。兵隊さんを喜ばしてあげませう。そして元氣をだしてもらひませう。

便りのこなかつた兵隊さんは本當に淋しさうだといふことです。一人の兵隊さんも淋しがらせてはなりません。ドン〳〵便りを送つて元氣づけ、まだ〳〵續く激戰を戰ひ拔いてもらひませう

（一）銃後だよりを書く心構へは

（ア）[illegible]はかりの、義理一遍りの[illegible]

（イ）たのしい遠足をしたとか、面白い映畫を見物したとかいふやうな[illegible]安心のできるやうなお便りを書きませう。また[illegible]兵隊さんが銃後のことを心配される[illegible]といふやうなことも耳にしますが[illegible]心[illegible]ところのこめてお書き下さい

（ウ）できるだけ町の、村の[illegible]

（二）ペンか筆で書きませう

（ア）エンピツ書きはゼッタイに[illegible]やめませう

（イ）ペンか筆でハッキリと書きませう

（ウ）宛名は部隊名、部隊名をくわしく分りやすくお書き下さい

（エ）軍事郵便と郵便のオモテ書くことを忘れないで下さい

（オ）滿洲國方面にかぎり、軍隊の所在地もお書き下さい　これのないものは差出した方にお返しすることになります

例）

滿洲國××省××縣□□
滿洲第×部隊何々隊
何　某　殿

（三）慰問小包の荷造りは丈夫にしませう

（ア）古布でもよいですから、小包はできるかぎり布包にして下さい

（イ）中味、重さ、大きさなどを考へてこれなら何んとしても破れないといふほどに荷造りをして下さい

（ウ）一度にたくさん送るよりも少しづゝでも度々送りませう

（エ）お金のたくさんかゝつたものがよいとはかぎらない。まごころこめた手作りの品物、結構です

（オ）小包の中へ受發人の所と名だけを書いたものを入れておきませう。手紙やマッチはいけません

（カ）小包の料金は次の通りです

(1) 滿洲國方面

一キロまで	三十五錢
二キロまで	四十五錢
三キロまで	五十五錢
四キロまで	六十五錢

(2) 支那方面

五百グラムまで	三十錢
一キロから四キロまで	(1)に同じ

・[illegible]

（四）料金に注意しませう

戰地宛の郵便は料金が完全に納つてゐなければなりません。未納や不足のないやうに氣をつけませう

（東京都市遞信局）

讀者調査のお願ひ

皆さんに御愛讀を願つてゐる『寫眞週報』は昭和十三年二月誕生以來年ごとに讀者がふえて、今日では各ご家庭に、學校に、常會に、その他色々な方面で廣く活用されてをります。

そこで情報局ではかねてから、この寫眞週報の讀者について調査し、本誌の編輯はもちろんのこと、そのほか情報局が今後色々仕事をしてゆく上での大切な參考資料にしたい希望を持つてゐたのですが、これがいよいよ機熟して、次週、七月十六日發行の寫眞週報について第一回の讀者調査をいたすことになりました。

しかし全國を一度に調査することは情勢によつてできませんので、ことしの第一回調査は、次の十六府縣だけに限つてやることにいたしました。

關東地方＝東京都、群馬縣
東北地方＝宮城縣、秋田縣
中部地方＝長野縣、富山縣、石川縣、[illegible]
[illegible]
近畿地方＝兵庫縣、三重縣
中國地方＝岡山縣、鳥取縣
四國地方＝德島縣、高知縣
九州地方＝福岡縣、鹿兒島縣

以上十六府縣に在住の本誌讀者の方々は次週の寫眞週報を入手されましたら、官製ハガキに印刷の「讀者調査票」が入つてをりますから切取り御記入の上情報局宛にお出し下さい。

どんな調査項目か、どう記入するか等については次週の本誌上で詳しく説明いたしますが、どうか情報局のこの計畫が立派な資料となりますやう、一人殘らず、御協力下さいますやう、前以てお願ひいたします

支那事變日誌抄

★昭和十二年
七、　七　支那事變勃發（蘆溝橋事件）
〃、二九　通州事件
八、　九　大山大尉狙撃事件（上海）
〃、一五　帝國政府、暴支膺懲の重大聲明發表
〃、一五　海軍第一回渡洋爆撃
九、　五　海軍、支那船の全支沿岸航行遮斷宣言
〃、一九　海軍機南京空爆
一〇、一二　國民精神總動員中央聯盟發會式
〃、二四　大場鎭、劉行鎭占據
一一、　六　日獨伊三國防共協定調印（ローマ）
一二、一三　南京陷落
〃、一四　中華民國臨時政府成立（北京）

★昭和十三年
一、一六　帝國政府、爾後國民政府を相手とせずとの聲明發表
二、二五　海軍機南昌空襲、敵三十七機撃墜
三、二四　國家總動員法成立
〃、二八　中華民國維新政府成立（南京）
五、一九　徐州完全攻略
六、　六　開封占據
七、　七　支那事變一周年に當り優渥なる勅語を賜ふ
〃、一一　ソ聯兵越境、張鼓峯を占領
〃、三一　皇軍、越境のソ聯兵撃退、滿洲國領土を回復
八、一〇　日ソ停戰協定成立
一〇、一二　バイアス灣敵前上陸
〃、二一　廣東入城
〃、二七　武漢三鎭完全攻略
一二、一八　汪精衛氏重慶脱出

★昭和十四年
一、　五　平沼内閣成立
二、一〇　海南島に奇襲上陸
三、二七　南昌占據
五、一一　外蒙軍、ノモンハン方面で不法越境
六、一五　外蒙軍、ハルハ河越境
七、一〇　汪精衛氏蔣介石との絶縁聲明
八、二三　（獨ソ不侵略條約調印）
〃、二八　平沼内閣總辭職
〃、三〇　阿部内閣成立
九、　一　第二次歐洲戰爭起り、蒙古聯合自治政府成立、德王主席就任
〃、　三　（英佛、對獨宣戰布告）
〃、　四　帝國政府、歐洲戰爭不介入聲明
〃、一六　日ソ停戰協定調印

★昭和十五年
一、一六　米内内閣成立
三、三〇　中華民國國民政府樹立（南京）
七、二二　第二次近衞内閣成立
九、二三　皇軍佛印に進駐
〃、二七　日獨伊三國同盟調印（ベルリン）
一〇、一二　大政翼賛會發會
一一、三〇　日華基本條約締結

★昭和十六年
三、一一　泰、佛印の紛爭調停成立
四、一三　日ソ中立條約調印（モスクワ）
五、　六　日、佛印經濟協定調印
〃、一六　第一回中央協力會議開かる
六、二二　（獨伊、ソ聯に宣戰布告）
〃、二三　近衞、汪共同聲明發表

寫眞週報問答

〔問〕毎日の日課として子供と一緒に慰問の手紙をだしたいのですが、出征中の知人がありません。宛名はどのやうに書いたらよろしいでせうか（東京　[illegible]）

〔答〕中支方面の兵隊さんへとか、南支方面の兵隊さんへといふやうにあなたの出したいと思はれる方面を封筒に書き、これを更に封筒に入れて、東京市麴町區永田町陸軍省恤兵部、または麴町區霞ヶ關海軍省恤兵部、或ひは各府縣の聯隊區司令部恤兵係宛に第一種郵便（二十グラムまで毎に四錢）としておだし下さい。恤兵部でこれを戰地の兵隊さんに屆けてくれますから慰問の目的を達することができようと思ひます。なほ右恤兵部宛の封筒の表面には「慰問文在中」とお書き下さい（[illegible]）

〔問〕最近青年體力管理法によつてツベルクリン注射をうけたところ、陰性、疑陽性、陽性の判定をされましたが、どういふことですか（[illegible]）

〔答〕ツベルクリンといふ特殊の結核菌製劑を皮膚の淺い層に注射しますと、まだ結核に感染したことのない人は何等の反應を現はさないのに對し、過去において感染をうけた人は注射の局所が一時赤くなり、時には水泡などを生じたりします。

そこの發赤の大きさを測定して、その直徑が四粍以下のを陰性、五―九粍を疑陽性（この該當者は少い）、一〇粍以上を陽性とし、陽性者は結核に感染してゐる人、疑陽性者はその疑ひある人と認定します。

但し陽性者すなはち結核患者だといふ譯ではなく、そのうちの大部分は過去において結核菌の侵襲をうけ而もこれを撃退してゐるので最も心配のない人であり、ただ少部分の人が現在多少なりと發病の狀態にあるのですから、このどちらに屬するかはレントゲンその他の精しい檢査をうけねば確定はできません。また反應の強弱すなはち發赤の大きさや水泡の發生などは個人差に歸し發病の有無とは何等關係ありません（厚生省結核課）

リレー Relay 計算尺
定價 ¥3.50より★カタログ無代送呈
東京・銀座 理研光學工業株式會社 計算尺部 電話・代表銀座5689

何日君再來（ホーリーチュンツァイライ）

厦門の華僑歸る

中國人の海外出稼ぎ人を華僑とよぶが、この華僑は世界のいたるところに散在してゐて、その數は七百八十萬人（一九三四年國民政府僑務委員會調査）あるといはれてゐるが、南洋の華僑がその八割を占めてゐる。

支那事變が始まるとすぐ、彼等は南洋華僑を中心として『故國中國』を救へと全國の華僑に檄を飛ばして資金を集め、敗戰に次ぐ敗戰で財政的に疲弊してゐた蔣政權に戰時資金供與のカンフル注射を施して抗日戰線への強力な推進力を與へたことはまだわれ〳〵の眼に新たなことで、これら華僑の經濟的な勢力は決して侮れないものがある。過去の例を見るとわが國が對支問題をおこす度毎に華僑は日貨排斥をしつこく行ひ、殊に南洋華僑はわが南洋貿易の進出を一時阻んだこともあつたやうに、貿易上でわが國と華僑との因縁は遠く深いものがある。それだけに、今事變を解決する上にも新らしい華僑對策を樹立することは重要なことであるといはねばならない

⇧華僑招待所が設けてある厦門　いま厦門の治安は全くなり、華僑だけに使用する水警局頭は久し振りで歸國する家族（華僑）を待つ人達で一杯だ

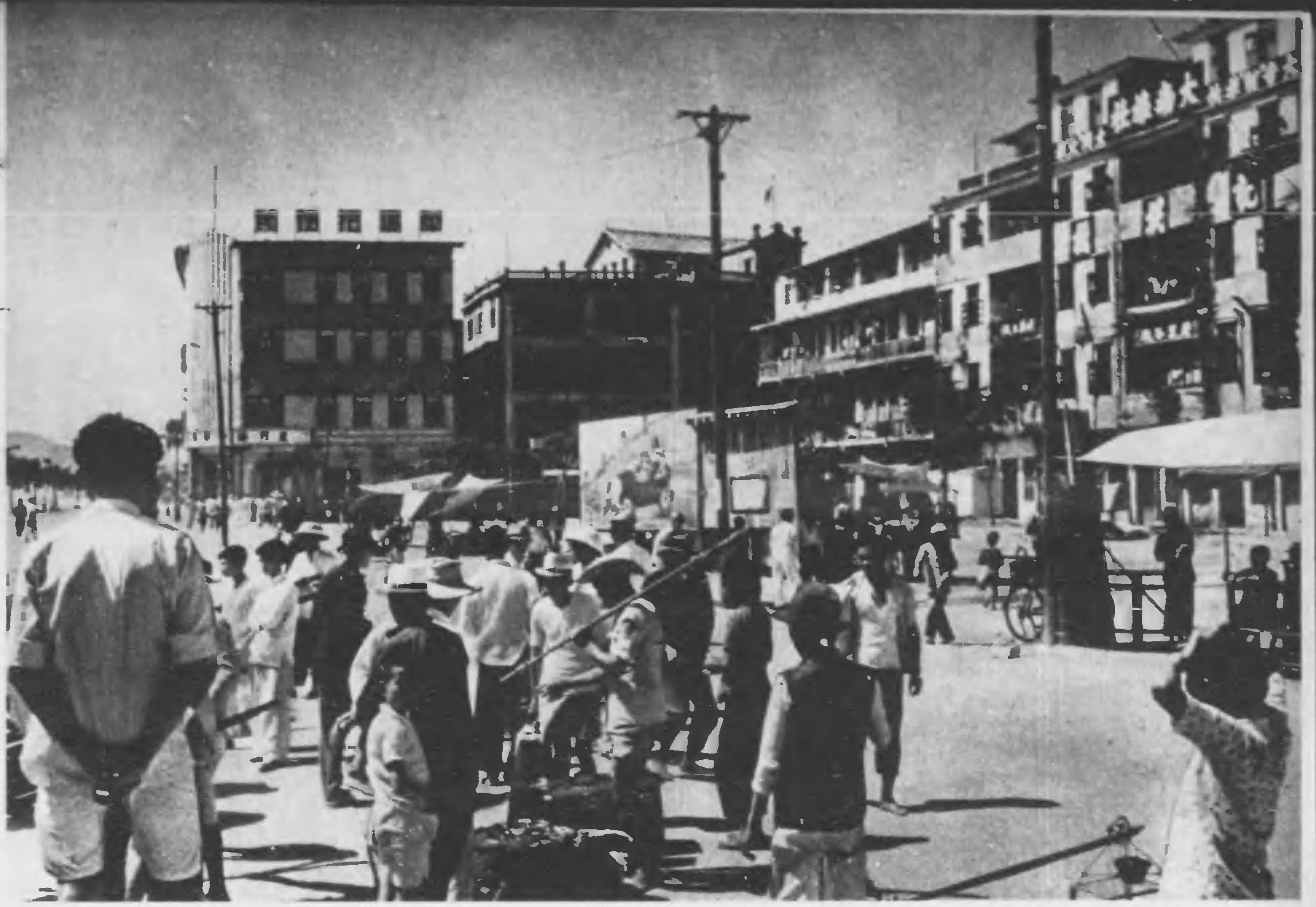
日本人も加はつて活潑な活動をみせてゐるコロンス共同租界の市參事會

三年振りで歸つて水警局頭を踏む感慨も見はるかす厦門の街も出國のときと少しも變つてゐない。―故郷は無事だ。『[illegible]』と心配で暗くなつてゐた華僑の顔は自然と明るくなつてゐる ⇦

さて、事變は四周年を迎へ、蔣政權の徹底的な敗北が誰の目にも明瞭となり、新國民政府の和平救國の運動に各地から翕然と參集する現實の前に『抗日救國』の一途を辿つてきた華僑も焦土抗戰の非を悟り、新政府の下に馳せ參ずる氣運が濃厚となつて來た。その空氣を裏書きするものに華僑の援蔣資金調達の貧困や抗日一點張りであつた在外地言論機關の沈默及び皇軍占領下にある彼等の郷里への送金の增加などがあげられるが、それにも增して新政府を擁護せよとの聲が日を逐ふに從つて增加してきてゐることは最も注目に値することである。

華僑といへば南支那の福建、廣東兩省の出身者が殆ど全部といつていい位多數を占めてゐるが、彼等を送迎する代表的な地、厦門、汕頭、澳門、廣東などの昨今は一時全く杜絶えてゐた故郷へ歸る華僑でその埠頭は賑ひ、各地の華僑招待所は華僑出入の登録やその保護、指導の事務に忙殺されてゐる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



⇨ 歸る人、迎へる人—お、無事だつたか、そこゝに交はす感激の言葉のなかに和平建國の氣分は流れてゐる

⇧ 埠頭に上がればなつかしい華僑專門の旅館、大南旅社は微笑んで「ようこそ」と歸國した華僑に呼びかける

⇩ 歸つてきた華僑は先づ南洋へ出かけるときに渡航手續をとつて貰つた華僑招待所へ行き歸國した登錄をすませる

何日君再來

ホー リー チュン ツァイ ライ

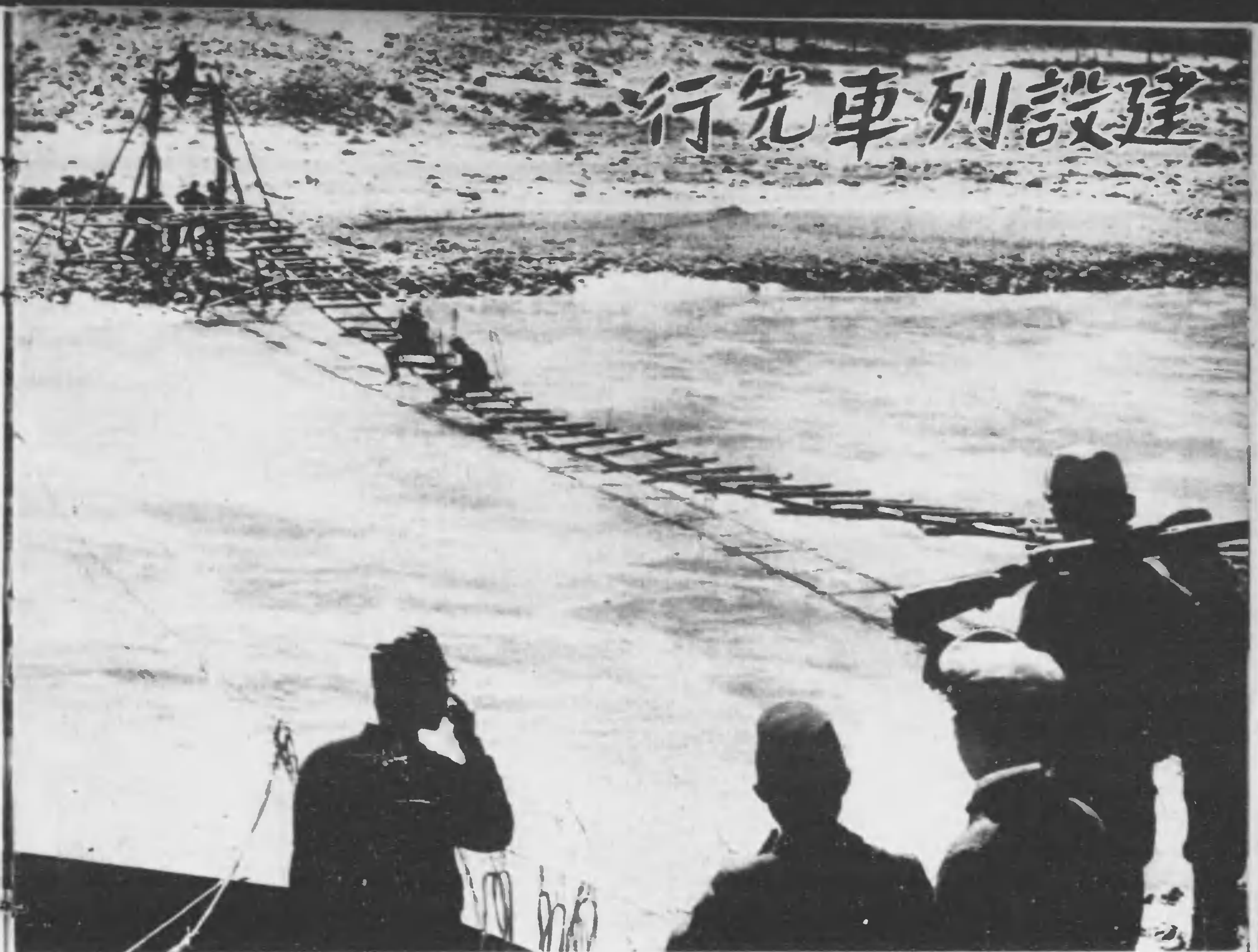
⇧ 事變後初めて歸國した上流華僑の沈さんは調度品一つ缺けてゐない、その位置さへも出國のときと變つてゐない佛壇の前で祖先の靈に歸國の報告をした

⇩ 「沈さんの主人が歸つてきた。」夫人はその喜びを包みきれず親しいお友達を招待して樂しい食卓を圍む

⇦ ゆつたりとわが家に落ちついた沈さんは留守を守つてゐた夫人に南洋の風俗風景などの貼つてあるアルバムをめくりながら家庭の雰圍氣に恍惚となる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

建設列車先行



⇧ 新線建設の架橋工事、執拗な敵の遊擊戰と戰ひながら、驚異的な速度で新らしく鐵道を延長してゆく。全く超人的とも思はれる努力である

岩をくだき、路を切りひらいて鐵道建設の路盤工事が進められてゆく。良民たちもすゝんで雜工事に建設の槌をふるつてゐる ⇩

支那事變の最も輝かしい成果の一つは日本の指導の下に大陸交通の整備が著々と進んでゐることである

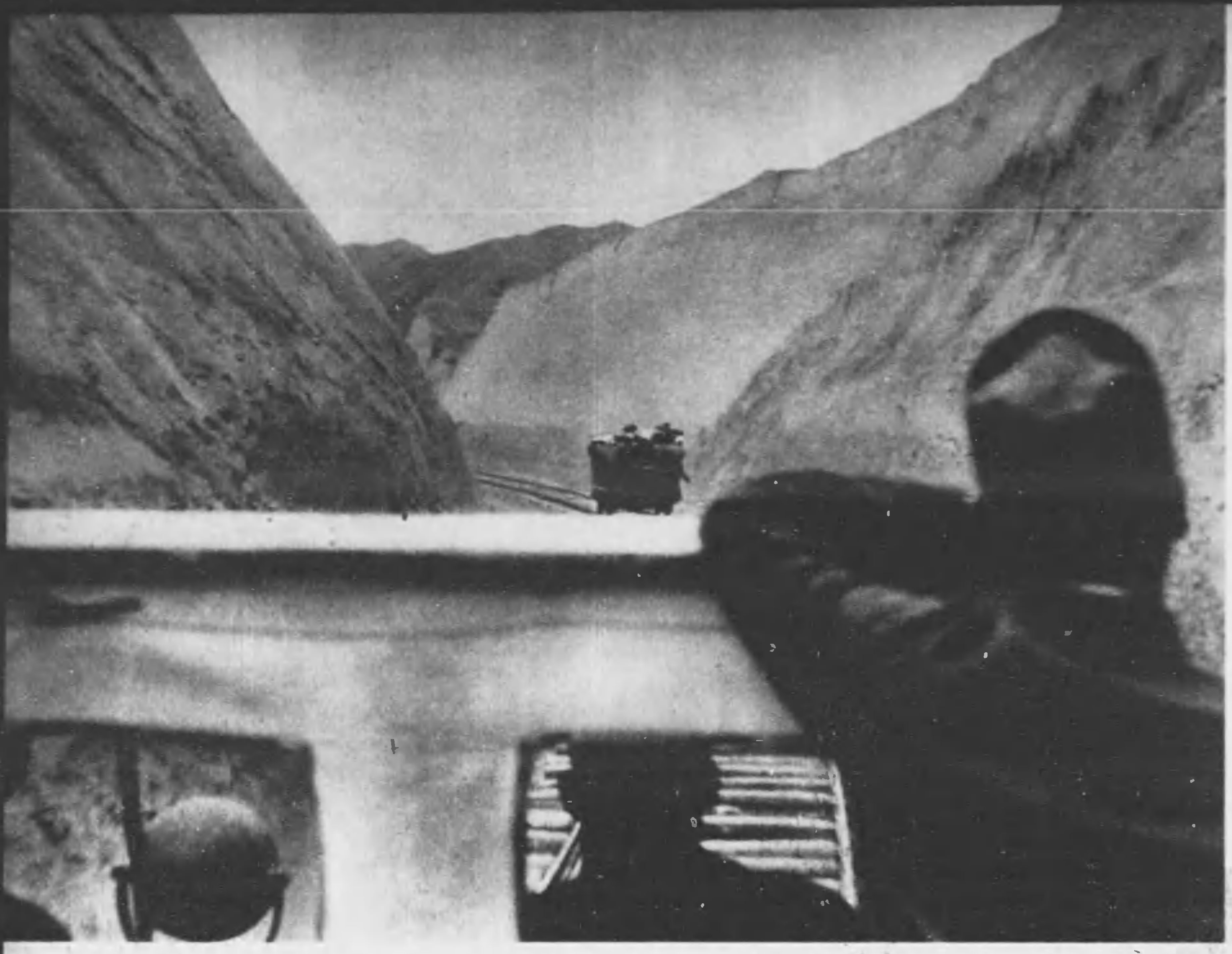
事變勃發後間もなく、郎坊、南苑などの戰鬪をへて京津地方がわが軍の手に陷ちると、早速北支事務局が開設されて、占領地域の鐵道復舊が始まつた。その後内地からも多數の鐵道職員が派遣されてこれを助け、皇軍の占領地域が擴大するにつれて、その活動の範圍も全北支に及ぶやうになつた

そして約一年半が經過し、事變が漸く長期建設の段階に入ると、交通事業の經營も恒久的な姿をとるやうになり昭和十四年四月には華北交通會社が設立され、全北支と蒙疆の交通事業は航空事業を除いてすべて同社がその運營にあたることになつた

現在華北交通會社の營業路線をみると、創業以來二ケ年余の僅かの間に急速に伸長し、鐵道五千九百キロ、自動車路一萬三千キロ、内河水運三千三百キロに及んでゐる。殊に鐵道は事變前の舊北支鐵道總營業キロの九十八パーセントを確保して、殘るは隴海線の開封以西のみとなつた

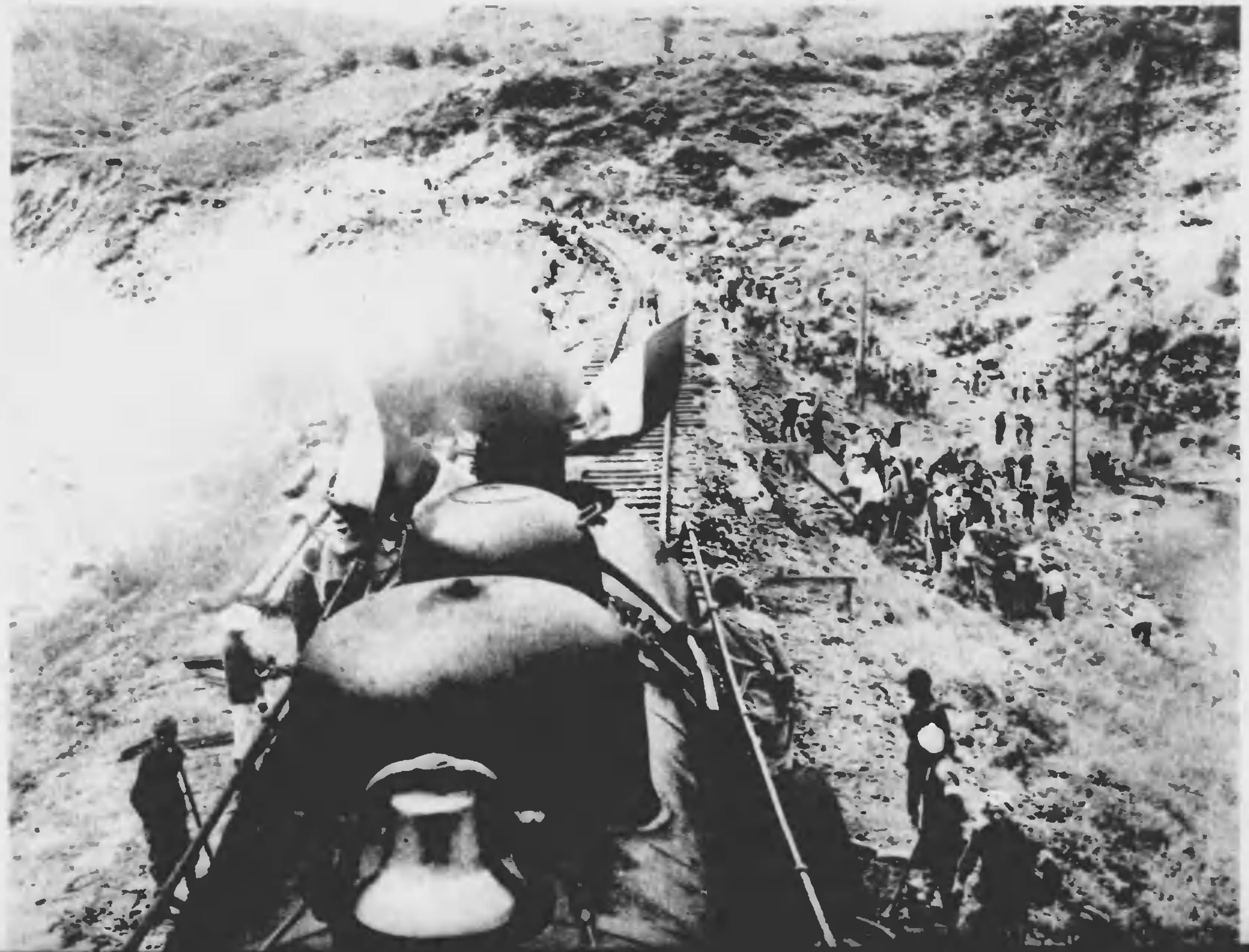
このやうに新支那大陸建設の基礎工事は著々と進み、北支に横たはる無盡藏の重工業資源は開發の一途を辿つてゐるが、その蔭には幾多の尊い犧牲のあつたことを忘れてはならない。事變勃發以來名譽の殉職を遂げた交通從業員は既に八百を超えてゐる

⇦ 大同と蒲州を結ぶ同蒲線は今まで狹軌であつたのが、廣軌に改められた。同蒲線は東潞線などの七つの支線を含めて總キロ數は一千百三十八キロに及んでゐる



⇧ 現場連絡に行くモーターカー。見事に切取られた黄土層が見える――事變後新たに建設された包頭、石拐子間を結ぶ大青山線にて

⇨ 北京近郊の豐臺と包頭を結ぶ京包線の復舊工事が完成した日、開通第一列車が、日華軍官民協力の輝かしい成果を謳歌しつゝ驀進する



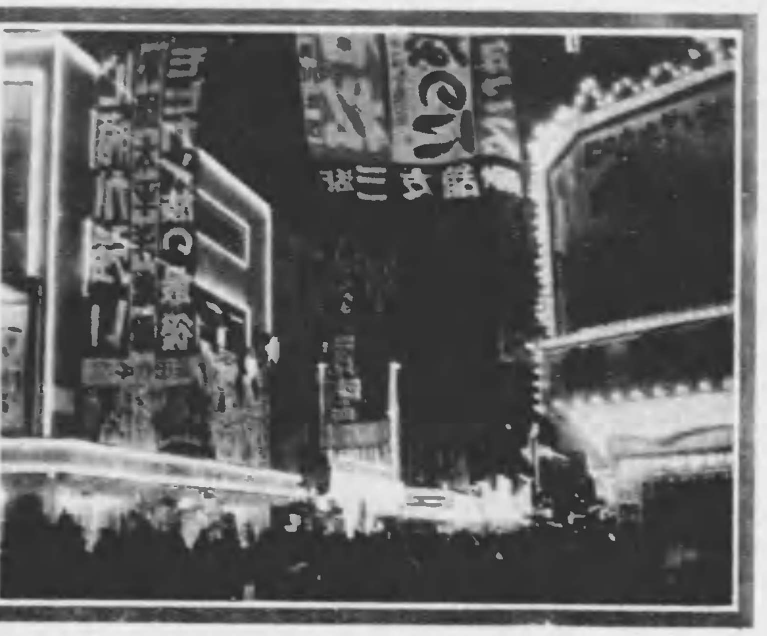
撮影 華北交通株式會社

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

満四年

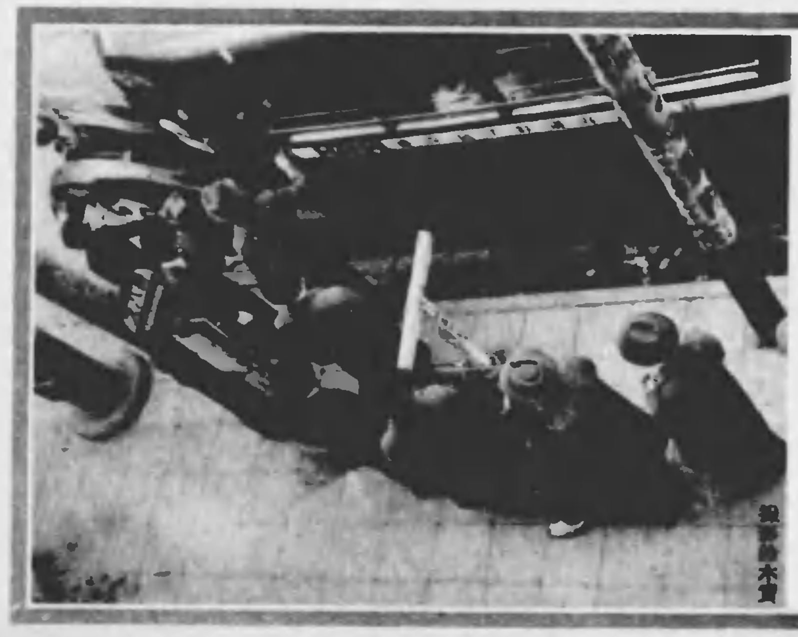
書齋からの講義などイミたいよ。おい行かう、きつとねるぜ——暗い茶房の一隅にまのびた顔をあつめると『ねエ、ちよつといゝだらう』——あゝ隔世の感あり！ペンをシャベルに持ちかへて陽光燦々、餘暇に働く勤勞奉仕

タンゴだ、ワルツだ、緑だ、赤だ、體臭だ、——そのダンスホールも次々に閉鎖されてどれもがそのまゝ國策會社へ……研究所へ……引越の日にホールの隅つこから忘れられた舞踏靴が片つぽ……自由主義末路の哀傷であつた



そのデタラメが妙に魅力で、ああそれエなのにのエが堪らねエ——ネオン華やかな淺草興業街のはね時、鳥打帽の兄さんはかく申したのですが今はどうかとのぞいて見れば職域奉公の笑ひの部隊が健全娯樂のアトラクション

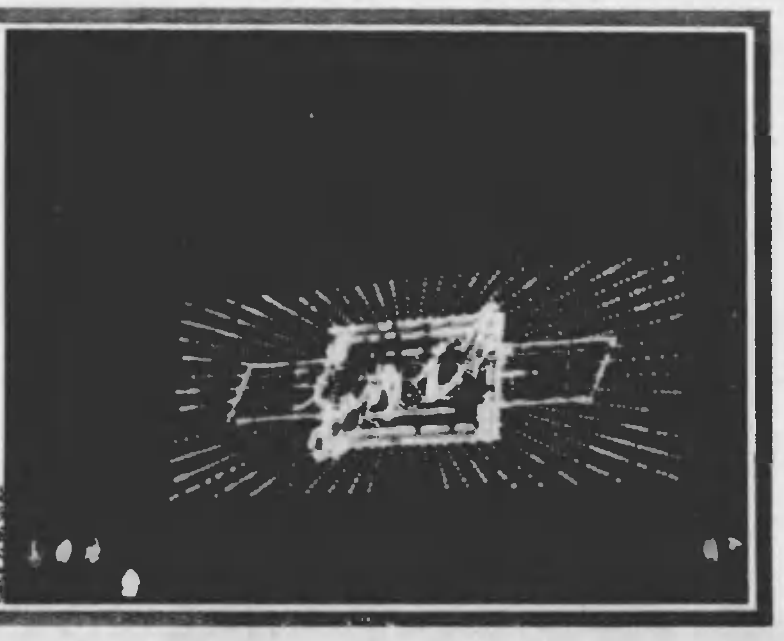
降りまアす！待つて下さいよ、降りるんですよ、降り……降ろせつたらア！聞かばこそ、猛虎の勢物凄く入口に猛進殺到……はいつ頃だつたでせう。なに？今も時々——御冗談でせう。皆さん、一列行列でお願しまアす



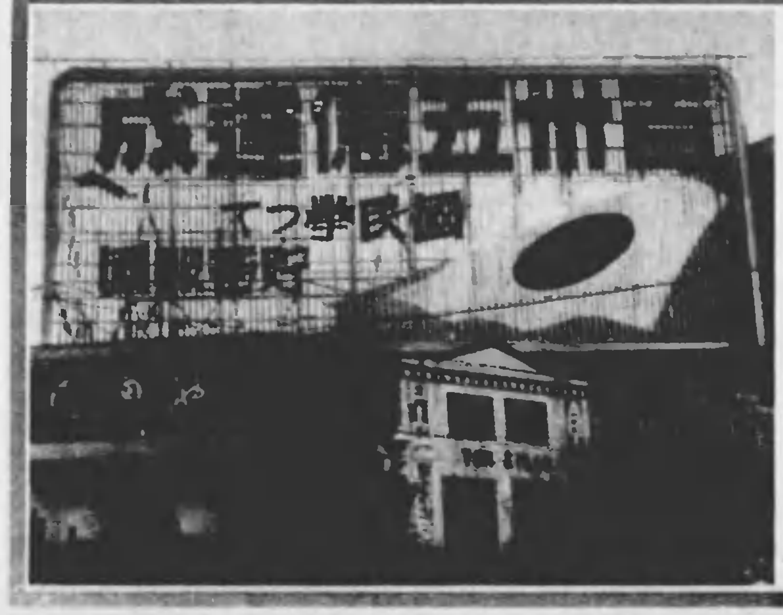
あらさうですの、これも出來なくなりますの、まあア！うつかり嫁にもやれませんわね——買溜、買ため、買ダメ……その利己主義も犬に喰はれて——贅澤品製造禁止公定價販賣、切符制、事變は色々の事を敎へて呉れます

空地はつまりごみ溜で——なアに誰かゞ何とかしますよ——公德心を失つただらしなさ！それも今日の日本にはありません。空閑地は隣組で食糧増産に、古バケツや空罐は金屬増産に、厨芥は豚の飼育にと全く無駄は無い

翼贊會住込のネズミの慨歎——あゝこの變轉！伊勢えびのお殘りも食へない、別嬪さんも見られない。結婚披露が協力會議に變つて出雲の神樣も下情上通の取持。さうなると吾輩は何をすべきや、今考へさせられとるんだが



CHVROLET……BUICK……派手なネオンが銀座の夜空に點滅して『ちよつとニューヨーク！』などとソーダ水のゲップと一緒に女の子の口から飛出した讃歎も昔の夢……時移り人變り國進んで見上げるは皇國進軍譜



満四年

同化性V・Bと三消化酵素の複合効果

わかもと 錠劑

「勤勞力」の確保！

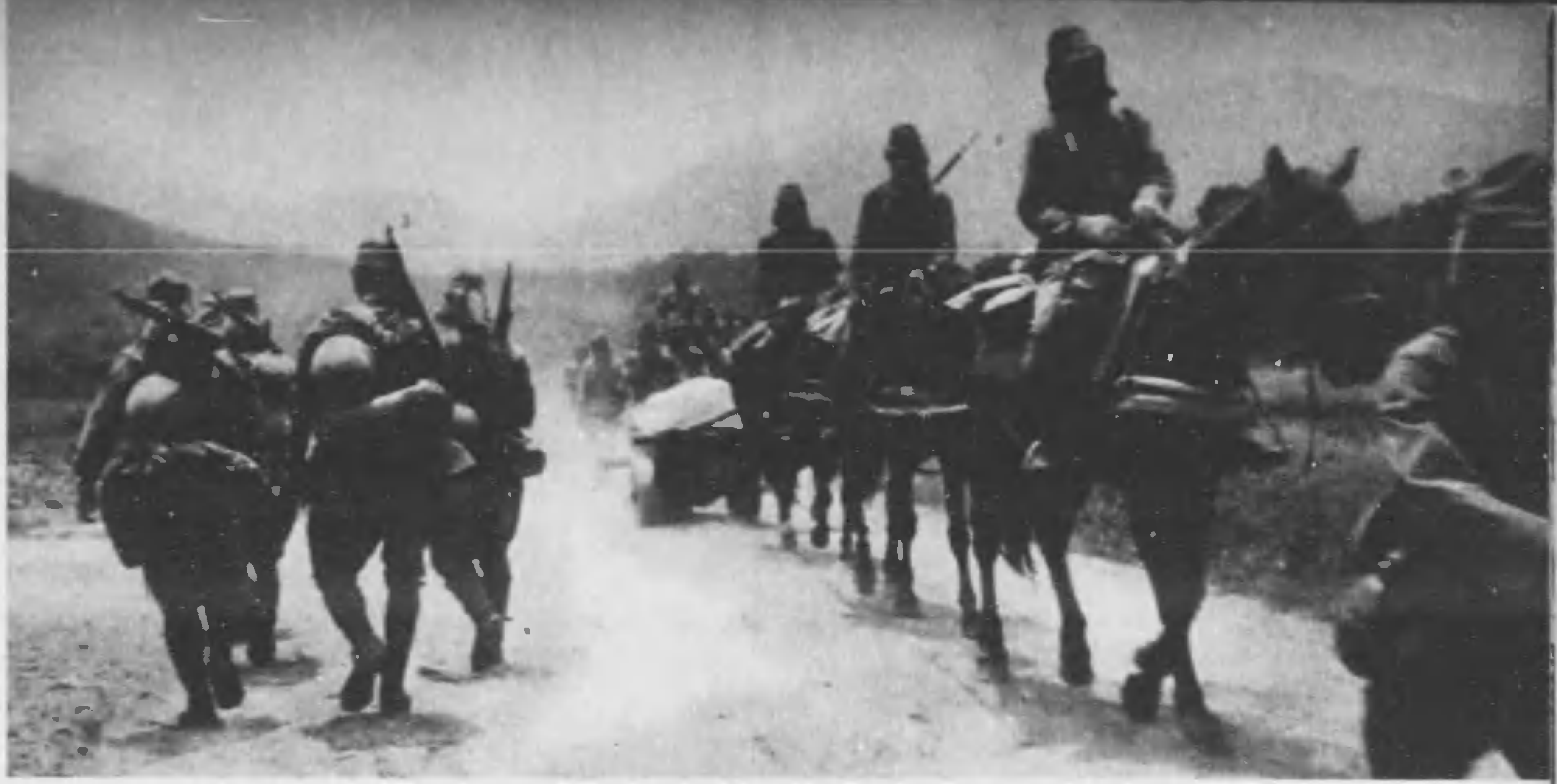
增產に總力すべき時――勤勞者の健康を確保し、頑張りのきく强靱な體力を培ふために、錠劑わかもとの服用が益々賞用されてをります。

過勞防止

錠劑わかもとは濃厚なビタミンB複合體を始め單一酵母劑に殆どない强力な三消化酵素や、グルタチオン、アミノ酸等、各種の榮養素を豐富に含み、獨特の細胞賦活作用で胃腸機能を强化し、疲勞を速かに解消して、結核や脚氣、胃腸病を防ぎ、體榮養を充實して、明朗な勤勞生活を繼續させます。

一日數錠
二十五日量 一圓六十錢（地方により協定價格あり）

わかもと本舗 東京・大阪 福岡・京城 北京・奉天 上海・漢口
WAKAMOTO
わかもと



⇧

脚で戰ふ今日も十五里

南支 樋口部隊 上田俊一

征く者、戻る者、もう何時間歩いたことか……前戰に出動する部隊に逢ふ『よう御苦勞、本隊はもうすぐだ』馬上から聲をかけられて、あ、たすかつたとほつとする、南支戰線の燒けつくやうな晝さがり……

讀者のカメラ

⇦

朗らか陣中初年兵

中支 有馬部隊 渡邊軍曹

一日の猛訓練が終つてさアこれから夕飯の仕度だ。お台所の主婦役を引うけてどうやらこの頃庖丁も板についてきた陣中初年兵の朗らかな水運び風景です

⇨

野戰餐宴

中支 大賀部隊報道班

久しぶりに兵站部から豚公とおいでなすつた『しめとのトンテキ』だらしなくつばの出て來る待ちどうしさよ トン汁かアー！ あートン汁かア！ すまねえな――と肺腑ならぬ胃の腑の底から感歎これ久しうす

復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか？

1 華北政務委員會の行政區域になつてゐるのはどこどこですか？――河北省、安徽省、甘肅省、山東省、河南省、浙江省、山西省、江蘇省……（10頁）

2 次の各事件を年代順に並べかへてごらんなさい
バイアス灣敵前上陸、皇軍佛印に進駐、南京陷落、徐州會戰、海南島敵前上陸、大政翼贊會成立、漢口陷落、新國民政府成立、海軍航空隊第一回渡洋爆擊……（16頁）

3 石佛で名高い大同にもう一つ有名なものは？……（8頁）

4 健康のつもりだのにツベルクリン反應の結果陽性と判定されました。結核でせうか？……（16頁）

5 北京まで電話をかけたいのですが、やはり無線電話といふことになりますか？……（10頁）

6 廈門、汕頭、澳門――何とよみますか？……（17頁）

7 北支に京包線といふのがあります。どことどこを結ぶ鐵道ですか？……（21頁）

8 滿洲國にもわが國の赤十字社に似たものがありますか？……（16頁）

9 機關銃に螺旋狀の筒がついたのがありますね、何のためですか？……（3頁）

10 華僑とは――將軍奥地の航空基地？ 造花などで飾つた支那館？ 中國人の海外出稼ぎ人？ 中國の大衆煙草？ ビルマ・ルートの吊橋？（17頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか

[illegible]

寫眞週報（禁轉載）
昭和十六年七月九日印刷發行
編輯者 情報局 東京市麹町區丸ノ内三ノ二
印刷發行者 内閣印刷局 東京市麹町區大手町

定價 一部 十錢
▲豫約配送御希望の方は一部十錢（外國郵便に依る地域は十九錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい
▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所
内閣印刷局發行課 電話丸ノ内(23)三五一一～九 振替東京一九〇〇〇
全國各地官報販賣所
各書店・驛賣店
各新聞販賣店
寫眞材料店

表紙

ガアーンと火をはく眼二つ……旋盤機銃の完成ももう一息といふところだ。久しぶりに敵機と火花を散らした兄からの便りに『機銃に物をいはせて……』とあつたことを思ひ出す。――兄さん、その機銃から俺たち工員の魂が、日本國民のあふれる熱誠が爆發するんですよ――さう囁いてやらうと若い工員は大陸の空の兄を思ふ

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records

寫眞週報　昭和十三年二月十二日　第三種郵便物認可　昭和十六年七月九日發行（毎週一回水曜日發行）　第百七十六號

あなたの一円で債券を

國民貯蓄に協力致しませう

一枚一円

七月十五日賣出

特別報國債券

（一枚一圓の豆債券）が賣出されます

この債券は

1僅か二年で償還へされます

[illegible]の抽籤で當籤しなかつたものも二年後の昭和十八年九月には元金が償還へされます

2一等割増金は五百圓であります

本年十月と明年十月との二回抽籤があつて一等五百圓以下多數の割増金が附きます

抽籤は日本勸業銀行の抽籤場で行はれ地方でも御覧になれます　當籤番號はラジオ新聞等で速報され又全部の當籤番號は數日後の各地新聞官報等で公表されます

3割増金と一緒に元金も償還へされます

従來の報國債券（五圓と十圓）とは違つて當籤した債券の元金一圓は割増金と一緒にお支拂ひします

4報國債券又は貯蓄債券と引換へることが出來ます

第一回の抽籤（本年十月）が濟むと其の翌月から當籤しないものでも一枚一圓の割合で賣出中の五圓又は十圓の報國債券或ひは貯蓄債券と引換へることが出來ます

五圓又は十圓に滿たない端數の場合は不足分だけ現金をお添へになれば同じく引換へられます　即ち二年後の元金の償還へされるのを待たなくても第一回の抽籤が行はれた翌月からは報國債券又は貯蓄債券のお買求めに御利用出來て大變お得な債券です

5無料保管の取扱は致しません

従來の報國債券と貯蓄債券は郵便局や日本勸業銀行で無料で預つて居りますが此の債券は償還年限が極く短いので無料保管の取扱は致しません

6税金は一切か丶りません

従來の債券同樣元金にも割増金にも税金は一切かかりません

7賣出場所

日本勸業銀行本支店出張所・郵便局・主なる銀行・證券業者・煙草小賣店・

内閣印刷局印刷發行

（本書の大きさは國定規格A4・週報判型）